

# A-dec® 342pro/342 サイドデリバリーシステム サービスガイド



## 目次

開始する前に .....	2
デリバリーシステムの取り付け .....	3
デリバリーシステムの取り付け完了 .....	22
ウォーターボトルの取り付け .....	23
トレイ・ホルダーマウント (オプション) の取り付け ..	23
キャビネットでのデータ回線と電源ケーブルの接続 .....	24
歯科用椅子でのリモート電源ケーブルとデータ回線の接続 ..	29
チューブの接続 .....	40
システムの調整 .....	42
タッチコントロール設定のカスタマイズ .....	49
規制情報および保証 .....	56



A-dec 342pro デリバリーシステム

### 本書で取り扱う機種とバージョン\*

機種	バージョン	説明
342pro	なし	デリバリーシステム
342	A	デリバリーシステム
311/511	A/B	歯科用椅子
311ft/511ft	なし	歯科用椅子
411	A	歯科用椅子
592/593/5531/5631/5543	A	歯科用キャビネット

\*本書に記載されている製品の機種、バージョン、オプションの中には、一定の地域で入手できないものがあります。

## 開始する前に

---

- お住まいの地域の建物・規格管理機関に設置要件を確認してください。
- 手動空気遮断弁が設置されていることを確認してください。
- 寸法および動作範囲、ユーティリティの配置については、以下を参照してください。
  - 『A-dec 342pro/342/542 サイドデリバリーシステム設置前ガイド』(部品番号 (P/N) 86.0035.05)
  - 『Preference Collection<sup>®</sup> 歯科用キャビネット設置前ガイド』(部品番号 (P/N) 86.0142.05)
  - 『A-dec Inspire<sup>®</sup> 歯科用キャビネット設置前ガイド』(部品番号 (P/N) 86.0528.05)



**警告** 金属製の間柱や石造りの壁に取り付ける場合は、適切な資格を持った技師（建築工学技士、建築技師など）に相談してください。すべての設置が現地の規制に適合していることを確認してください。取り付け部の構造には、最小せん断荷重 445 N（100 ポンド）、最小モーメント 152 N-m（112 フィートポンド）の強度が必要です。

---



**警告** 感電の危険があります。カバーを外したり元に戻す際には、ワイヤーやチューブに損傷を与えないよう注意してください。また、カバーを再度取り付け後は、しっかりと固定されていることを確認してください。

---

## 推奨する工具

- |                  |          |              |
|------------------|----------|--------------|
| • 静電気防止用リストストラップ | • ラジオペンチ | • 水準器        |
| • 六角レンチセット       | • 標準ペンチ  | • ドリルとドリルビット |
| • 調整レンチ          | • 斜ニッパー  | • アンビリカルスネーク |
| • 標準的なプラスドライバー   |          |              |

## デリバリーシステムの開梱

1. 梱包箱からデリバリーシステムアセンブリを取り出します。
2. キャビネットに取り付ける場合は、キャビネットのドアと引き出しを外してアクセスしやすくします。

## デリバリーシステムの取り付け

---

デリバリーシステムを取り付ける場所に応じた手順を実行してください。

キャビネットへのデリバリーシステムの取り付け .....	3
壁へのデリバリーシステムの取り付け .....	16

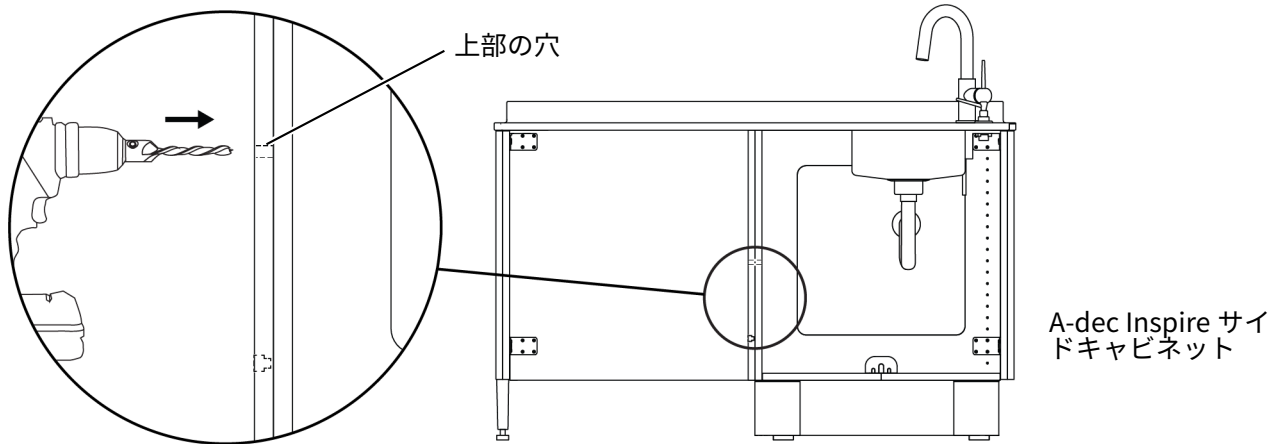
### キャビネットへのデリバリーシステムの取り付け

#### マウンティングブラケットの取り付け

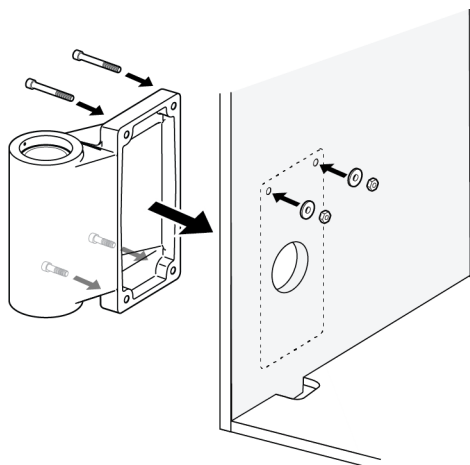
ブラケットを取り付ける場所に応じた手順を実行してください。

A-dec Inspire キャビネットと Preference キャビネットへのマウンティングブラケットの取り付け .....	4
A-dec 以外のキャビネットへのマウンティングブラケットの取り付け .....	5

## A-dec Inspire キャビネットと Preference キャビネットへのマウンティングブラケットの取り付け



- 1 すべての A-dec Inspire サイドキャビネットと Preference サイドキャビネット - 5/16 インチのドリルビットを使用して、上部 2 つのブラケットの取り付け穴をキャビネットまで貫通させます。



- 2 ブラケットの穴と、キャビネットの穴の位置を合わせます。
- 3 下部の取り付け穴に 2 本のネジを差し込み、3/16 インチの六角レンチを使用してブラケットを固定します。



下部取付ネジ (2) - 実物大



上部取付ネジ (2) - 実物大



ワッシャー (2)  
とナット (2) - 実物大

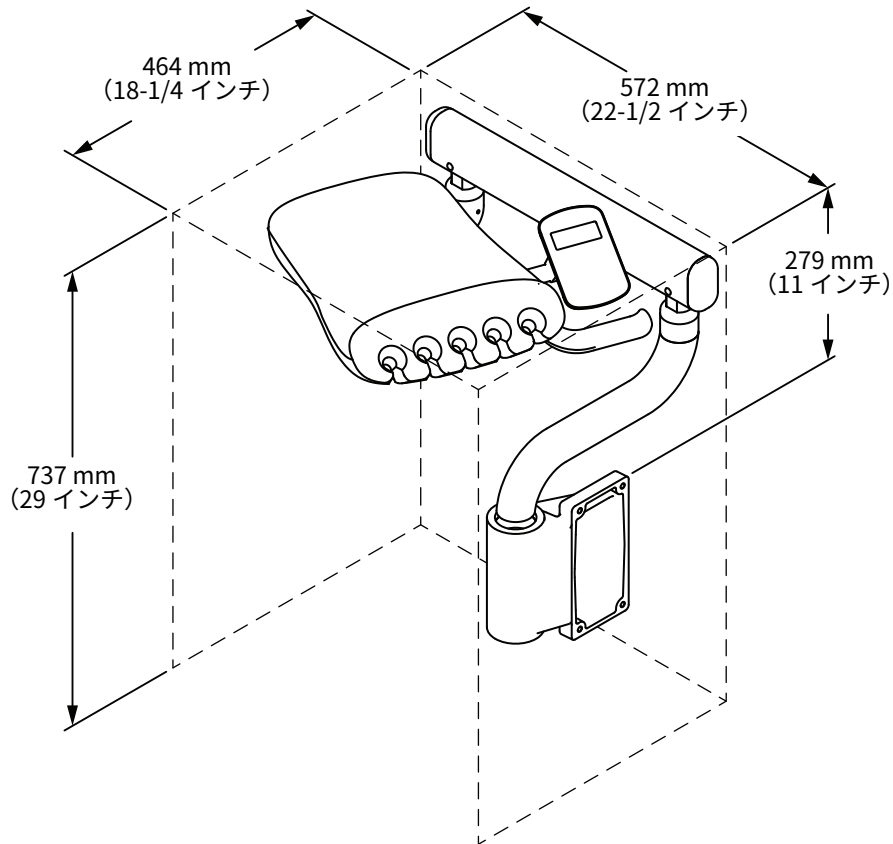
- 4 上部の取り付け穴に 2 本のネジを差し込み、3/16 インチの六角レンチと 7/16 インチのレンチを使用して、ブラケットをワッシャーとナットで緩く固定します。
- 5 キャビネットにチェイスが取り付けられている場合は、プラスドライバーを使用してチェイスカバーを取り外します。

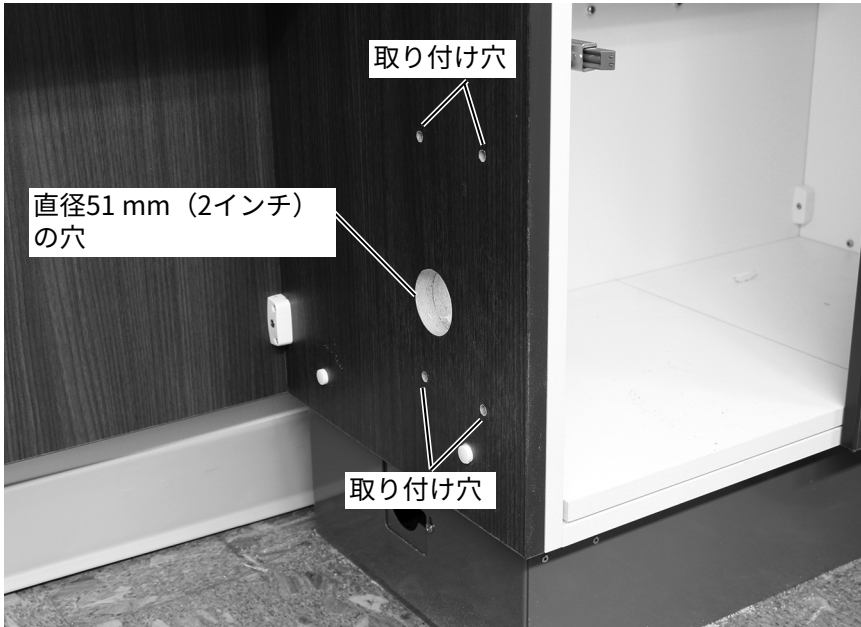
**次のステップ** 10 ページの「ブラケットの水平調整」を参照してください。



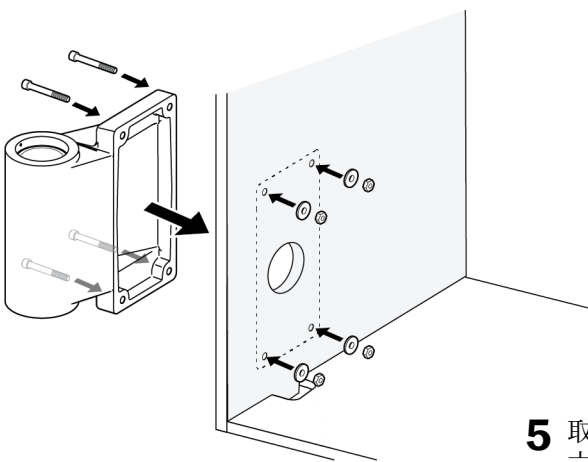
## A-dec 以外のキャビネットへのマウンティングブラケットの取り付け

A-dec 342pro/342 を取り付けるには、キャビネットを設置するスペースに少なくとも以下のクリアランスが必要です。





- 1 8 および 9 ページにあるマウンティングブラケットのテンプレートを切り取ります。テンプレートをキャビネットの前端に合わせます。キャビネットの正面を起点としてテンプレートの向きを合わせてください。
- 2 4つの取り付け穴と、アンビリカル用の 51 mm (2 インチ) の穴の印を付けます。
- 3 5/16 インチのドリルビットを使用して、ブラケットの取り付け穴を 4 つ開けます。
- 4 アンビリカル用の 51 mm (2 インチ) の穴を作ります。



取付ネジ (4) - 実物大

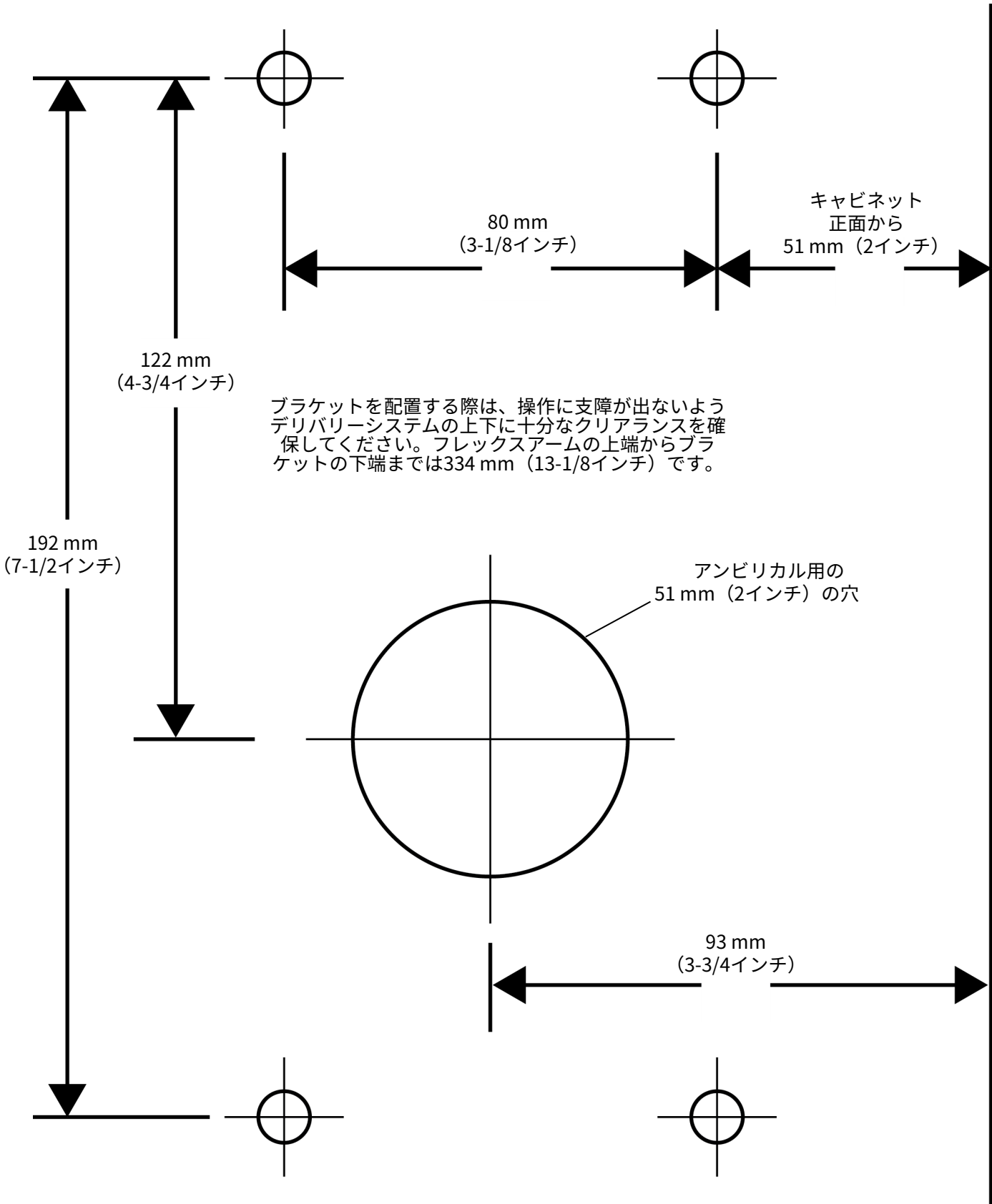


ワッシャー (4) とナット (4) - 実物大

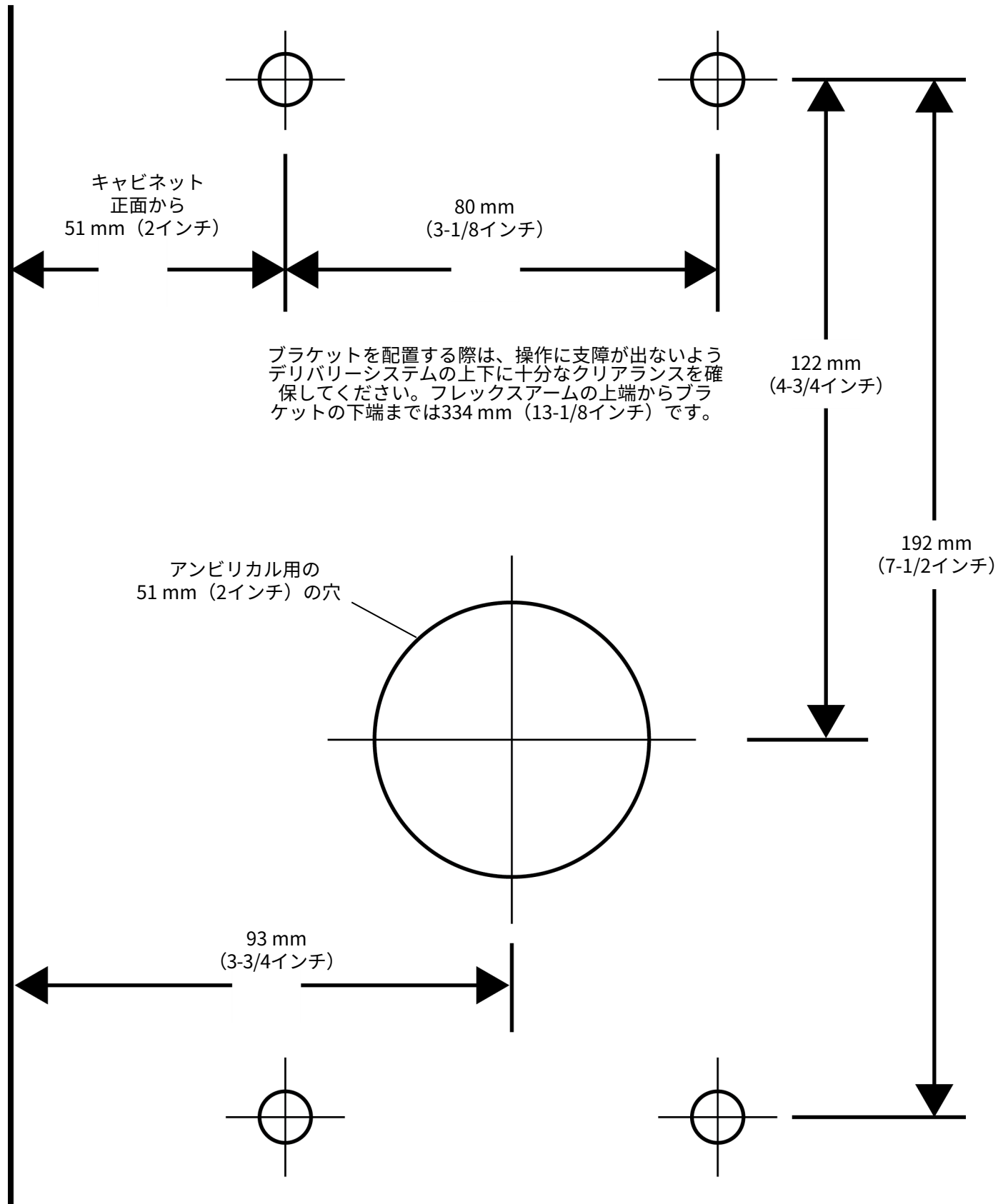
- 5 取り付け穴に 4 本のネジを差し込み、3/16 インチの六角レンチと 7/16 インチのレンチを使用して、ブラケットをワッシャーとナットで緩く固定します。



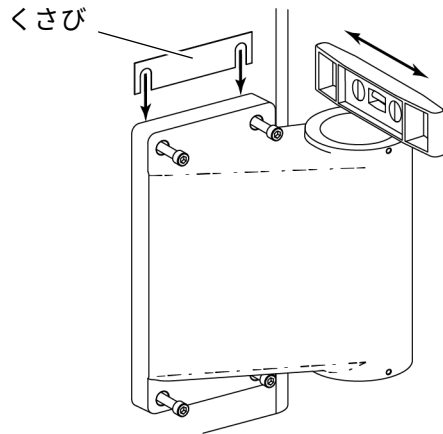
### マウンティングブラケットのテンプレート (右側の設定)



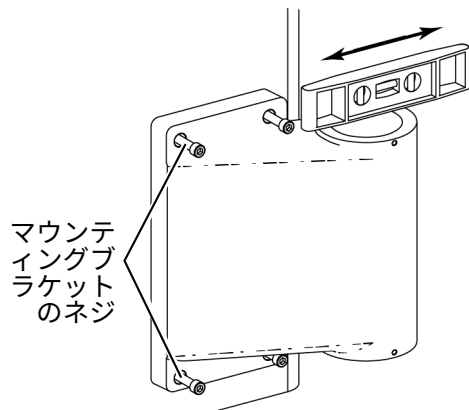
マウンティングブラケットのテンプレート (左側の設定)



## ブラケットの水平調整



- 1 キャビネットが水平であることを確認します。
- 2 左右が水平であることを確認します。水平を調整するには、キットのくさびをマウンティングブラケットとキャビネットの間に挿入します。



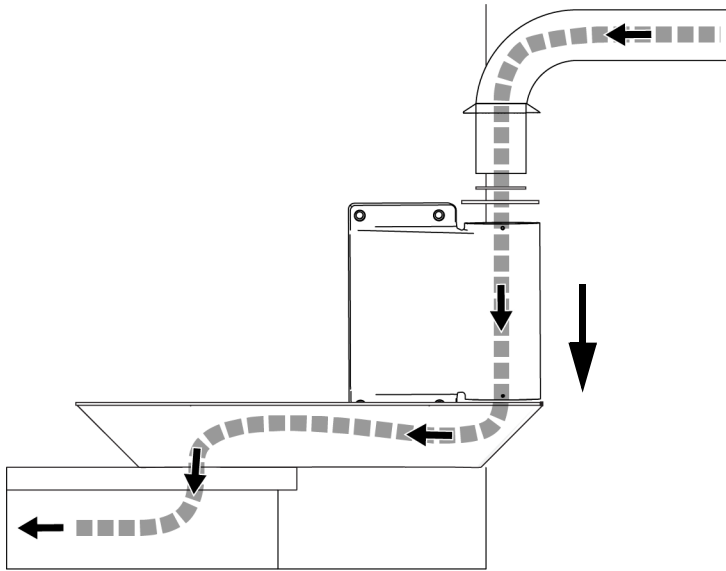
- 3 前後が水平であることを確認します。マウンティングブラケットのネジを緩め、水平になるまで動かし、ネジを締め直します。

## デリバリーシステムの取り付け

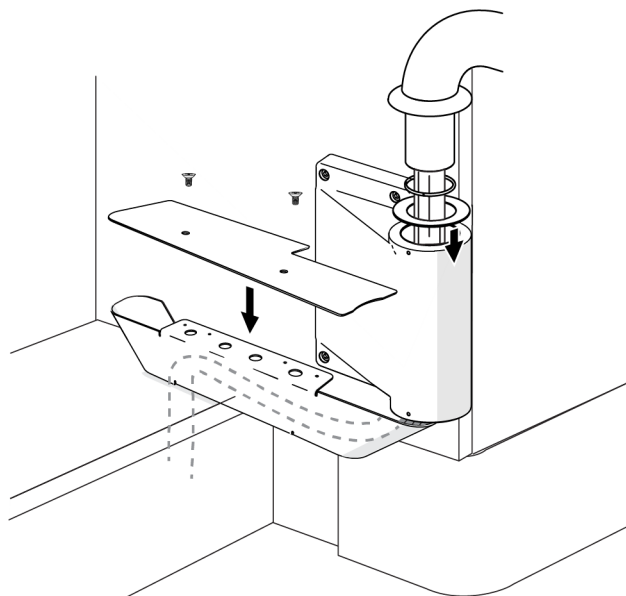
ブラケットを取り付ける場所に応じた手順を実行してください。

すべての A-dec Inspire サイドキャビネットへのデリバリーシステムの取り付け .....	11
A-dec Inspire キャビネット、Preference 中央キャビネット、シンクに隣接した Preference サイドキャビネット、A-dec 以外のキャビネットへのデリバリーシステムの取り付け .....	12
シンクの反対側にある Preference サイドキャビネットへのデリバリーシステムの取り付け .....	13

## すべての A-dec Inspire サイドキャビネットへのデリバリーシステムの取り付け



- 1** アンビリカル、ワイヤー、データ回線を固定アーム、ブラケット、（キャビネットに取り付けられている）チェイスを介してキャビネット下部のユーティリティまで通します。
- 2** 固定アームをマウンティングブラケットに差し込みます。  
ワッシャーが固定アームハブの所定の位置にあることを確認します。

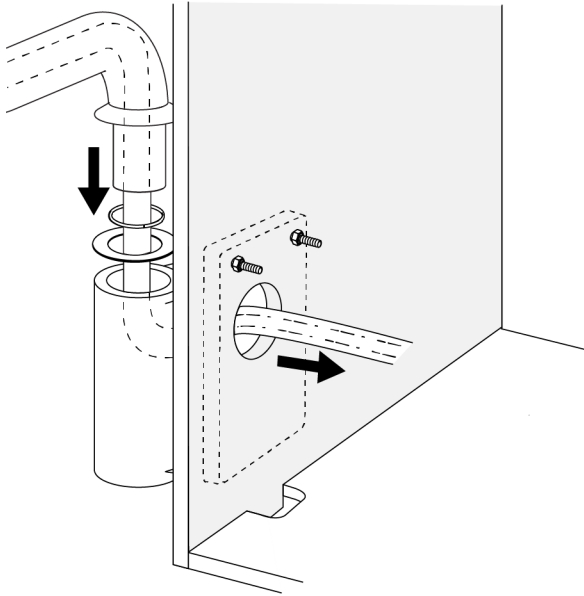


チェイスカバーのネジ - 実物大

- 3** プラスドライバーと2本のネジを使ってチェイスカバーを取り付けます。チェイスカバーとネジは Inspire 593 の付属キットに含まれています。

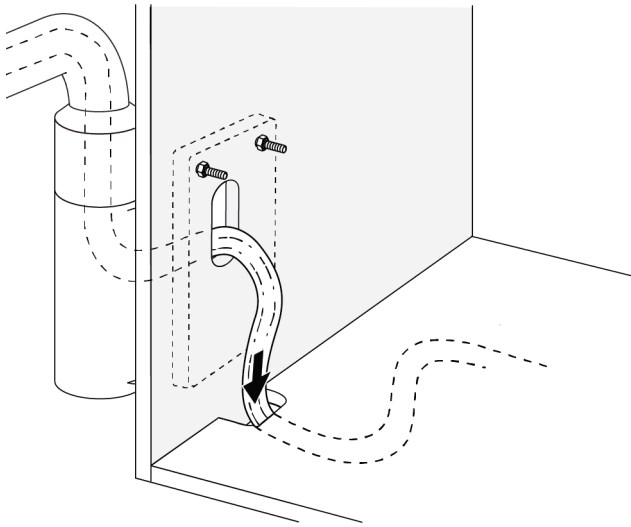
**次のステップ** 22 ページの「デリバリーシステムの取り付け完了」を参照してください。

## A-dec Inspire キャビネット、Preference 中央キャビネット、シンクに隣接した Preference サイドキャビネット、A-dec 以外のキャビネットへのデリバリーシステムの取り付け



- 1** アンビリカル、ワイヤー、データ回線を固定アームとブラケットを介してキャビネット / X 線支柱まで通します。
- 2** 固定アームをマウンティングブラケットに差し込みます。ワッシャーが固定アームハブの所定の位置にあることを確認します。

シンクに隣接したPreferenceサイドキャビネット

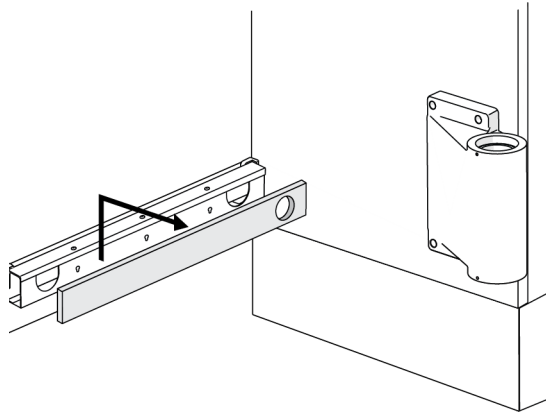


- 3** アンビリカル、ワイヤー、データ回線をキャビネットの下部を介してユーティリティまで通します。

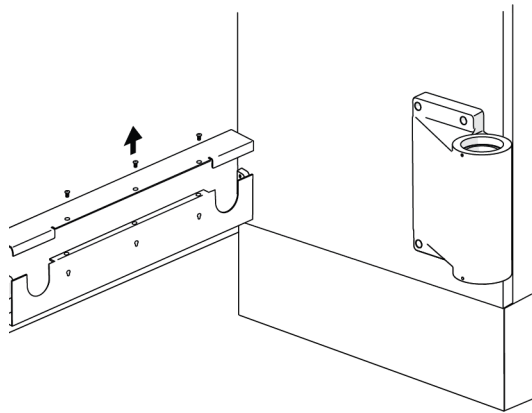
**次のステップ** 22 ページの「デリバリーシステムの取り付け完了」を参照してください。



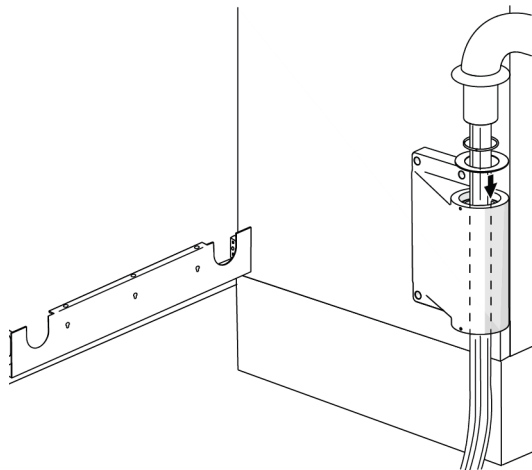
## シンクの反対側にある Preference サイドキャビネットへのデリバリーシステムの取り付け



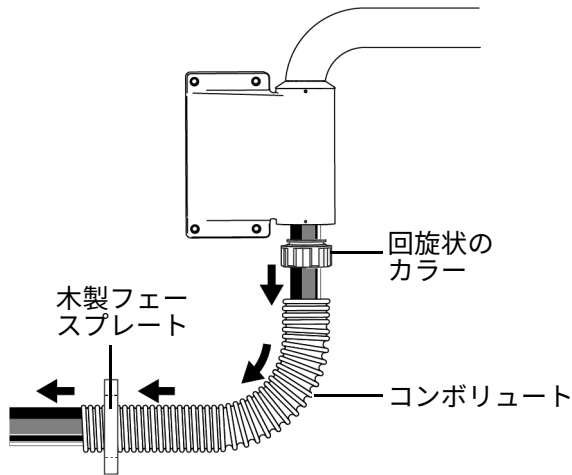
- 1** 木製のフェースプレートを上スライドさせ、チェイスから外します。



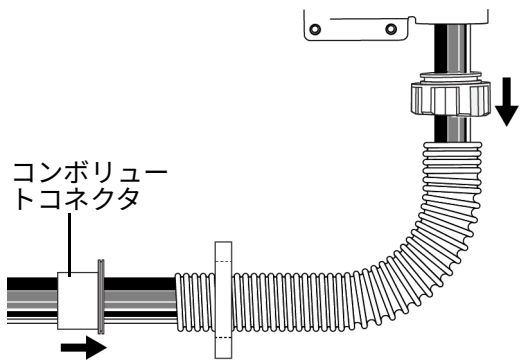
- 2** プラスドライバーを使用して、チェイス上部のカバーを取り外します。



- 3** アンビリカル、ワイヤー、データ回線を固定アームとブラケットまで通します。
- 4** 固定アームをマウンティングブラケットに差し込みます。ワッシャーが固定アームハブの所定の位置にあることを確認します。



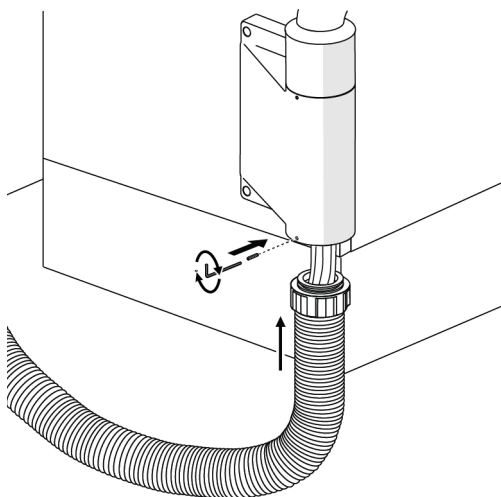
- 5** コンボリユートカラーのネジ山をコンボリユートに向け、アンビリカル、ワイヤー、データ回線をコンボリユートカラーとコンボリユートに通し、その後コンボリユートを木製のフェースプレートに通します。



- 6** コンボリユートコネクタのネジ山をコンボリユートに向け、アンビリカルをコネクタに通し、その後コンボリユートコネクタとコンボリユートカラーをコンボリユートにねじ込みます。



**注** コンボリユートカラーとコンボリユートコネクタは逆ネジです。

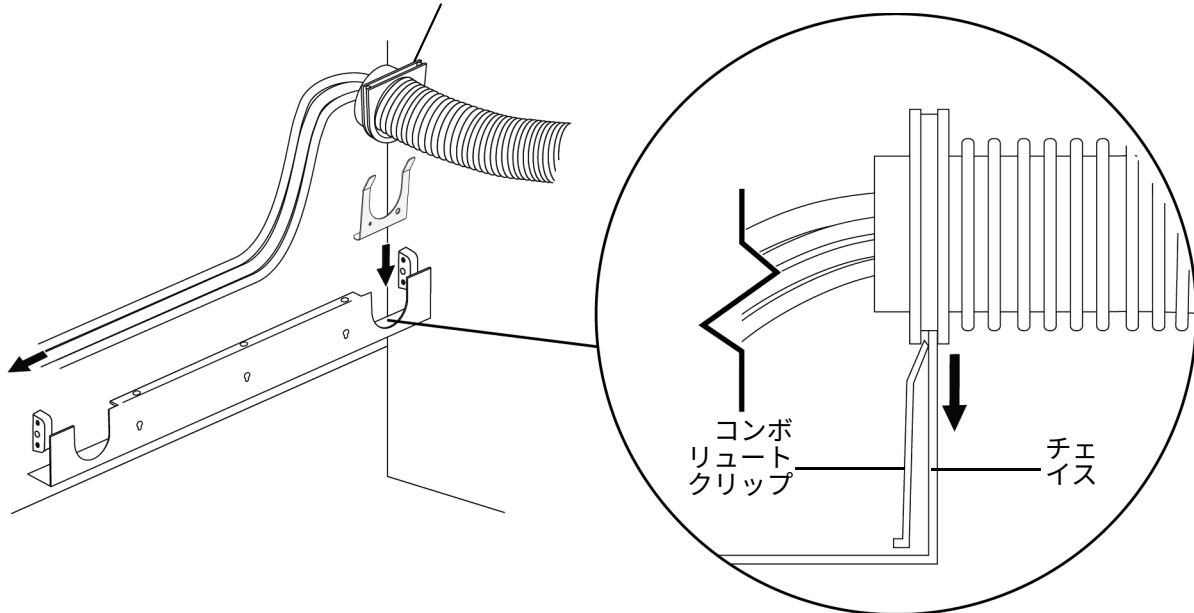


- 7** コンボリユートカラーをブラケットに押し込み、1/16 インチの六角レンチと止めネジを使用してカラーをブラケットに固定します。

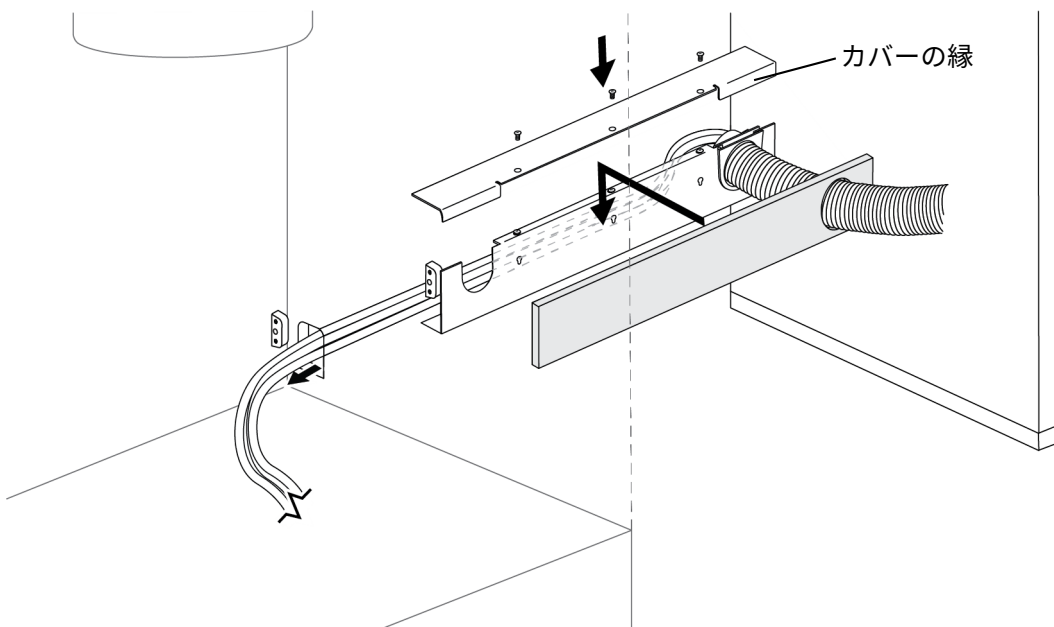


止めネジ - 実物大

コンボリユートコネクタの平らな端を上に向ける



- 8** コンボリユートクリップをコンボリユート用の切り込みに触れる形でチェイスに入れ、チェイスとクリップの両方がスロットにスライドするようにして、コンボリユートコネクタを切り込みにスライドさせます。



- 9** アンビリカルをチェイス、シンクモジュールを介してキャビネット下部まで通します。カバーとフェースプレートを元の位置に戻します。



**ヒント** カバーの2つの縁はチェイス前面の後ろに入ります。

**次のステップ** 22 ページの「デリバリーシステムの取り付け完了」を参照してください。

## 壁へのデリバリーシステムの取り付け

### バックボードの取り付け



**警告** 非構造材用の耐力のない壁固定金具は使用しないでください。A-dec は、耐力のない壁固定金具を使用したことによる損害の保証は一切いたしません。



**警告** 金属製の間柱や石造りの壁に取り付ける場合は、適切な資格を持った技師（建築工学技士、建築技師など）に相談してください。すべての設置が現地の規制に適合していることを確認してください。取り付ける壁には、最小せん断荷重 173 N（39 ポンド）、最小モーメント 142 N・m（105 フィートポンド）の強度が必要です。

#### 1 バックボードの取り付け位置を決めます。

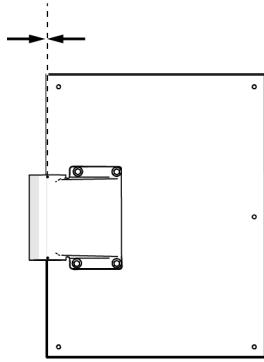
- バックボードから測定したアームの最大延長時の長さは 1530 mm（60-1/4 インチ）です。
- バックボードの底から床までの推奨距離は 13 cm（5 インチ）です。オフィスのスペースや医師の好みに合わせて位置を調節してください。

次のページの画像は、壁面バックボードとマウンティングブラケットの位置決めオプションを示しています。



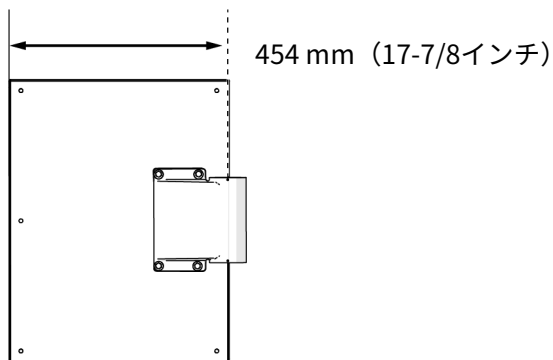
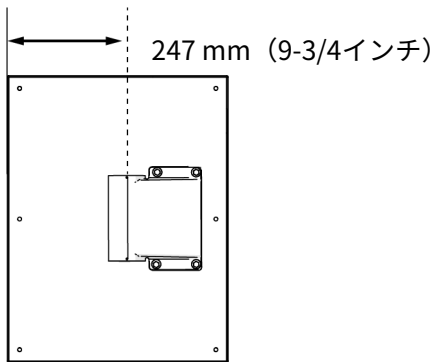
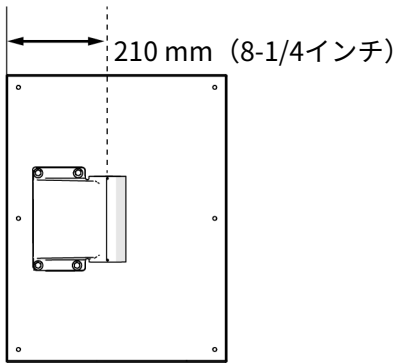
**重要** バックボードの配置を補助するテンプレートと A-dec 342pro/342 に関する追加情報については、『A-dec 342pro/342 サイドデリバリーシステム壁マウントバックボードテンプレート』（部品番号（P/N）85.0049.00）を参照してください。

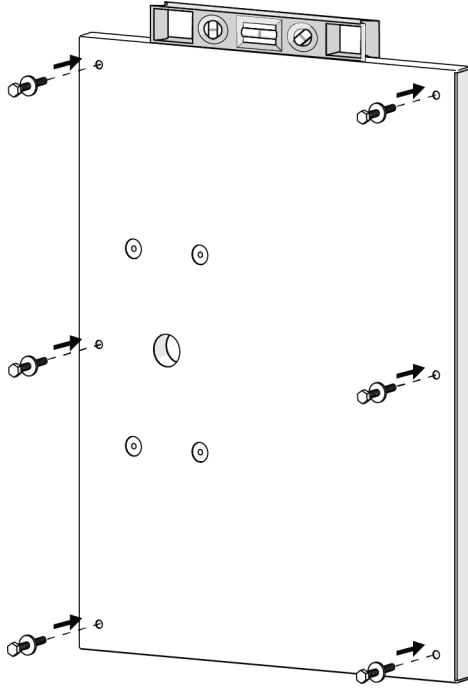
3 mm (1/8インチ)



### バックボードとブラケットの取り付け位置のオプション

距離は、バックボードの端からマウンティングブラケット内の固定アームの位置の中心までを測ります。





- 2 バックボードを取り付ける場所に配置します。
- 3 バックボードが水平であることを確認し、6つのバックボード取り付け穴に印を付けます。



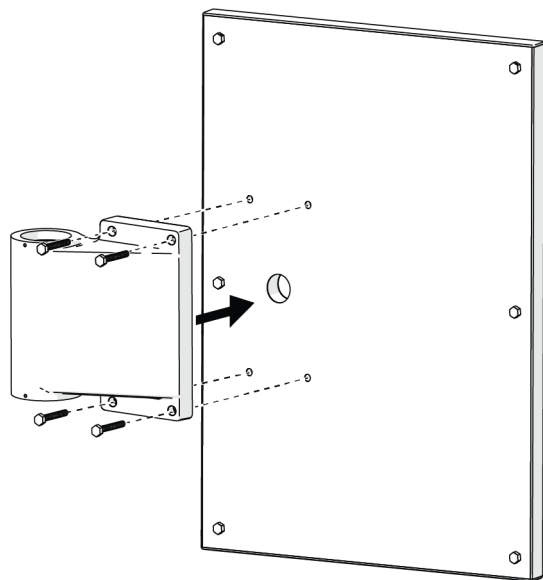
**警告** 以下は、バックボードを木製スタッドに固定する場合のみの説明です。金属製の間柱や石造りの壁に取り付ける場合は、適切な資格を持った技師（建築工学技士、建築技師など）に相談してください。すべての設置が現地の規制に適合していることを確認してください。

- 4 3/16 インチのドリルビットを使用して、スタッドに取り付け穴を開けます。
- 5 ワッシャーを6つのラグスクリューに取り付けます。
- 6 バックボードを取り付け穴に合わせ、7/16 インチのソケットとラチェットを使用して、ラグスクリューでバックボードを緩く固定します。
- 7 水平であることを確認し、ネジを完全に締め付けます。



ラグスクリュー - 実物大

## マウンティングブラケットの取り付け

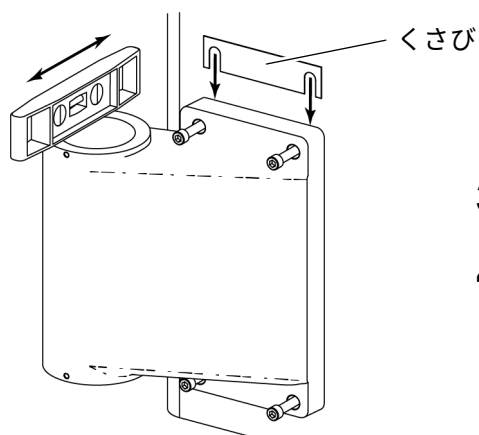


左側の取り付け位置

- 1** ブラケットの穴と、バックボードの穴の位置を合わせます。
- 2** 3/16 インチの六角レンチと 4 本のネジを使用して、ブラケットをバックボードに固定します。

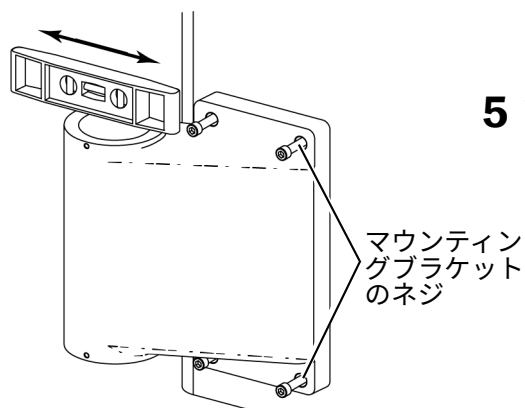


取付ネジ - 実物大



くさび

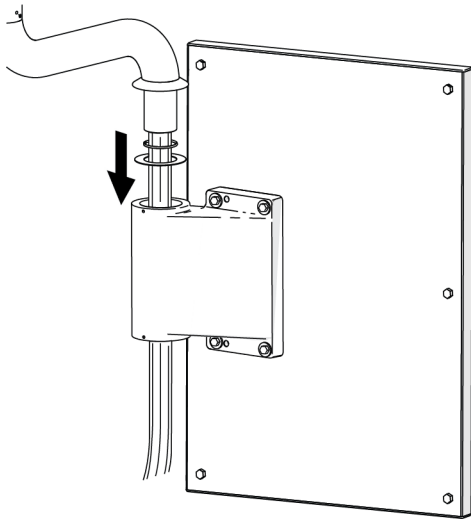
- 3** バックボードが水平であることを確認します。
- 4** 左右が水平であることを確認します。水平を調整するには、キットのくさびをマウンティングブラケットとキャビネットの間に挿入します。



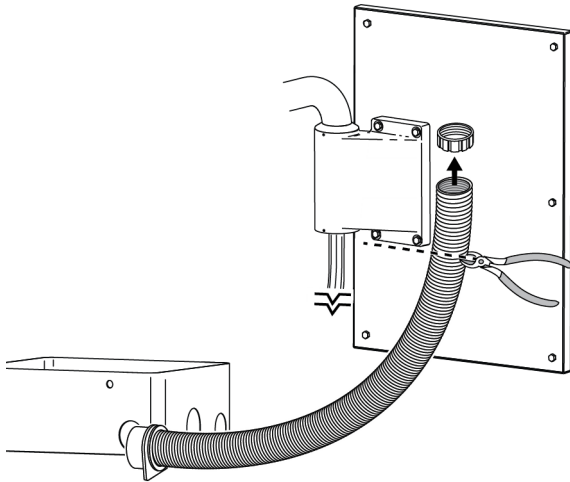
マウンティング  
ブラケット  
のネジ

- 5** 前後が水平であることを確認します。マウンティングブラケットのネジを緩め、水平になるまで動かし、ネジを締め直します。

## デリバリーシステムの取り付け



- 1 アンビリカル、ワイヤー、データ回線を固定アームとブラケットまで通します。
- 2 固定アームをマウンティングブラケットに差し込みます。  
ワッシャーが固定アームハブの所定の位置にあることを確認します。



- 3 フロアボックスから保護材を取り除いてから、フロアボックスをユーティリティ近くに設置します。
- 4 コンボリユートからコンボリユートカラーを取り外します。

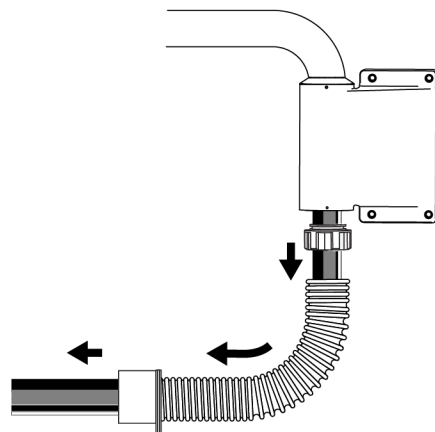


注 コンボリユートカラーは逆ネジです。



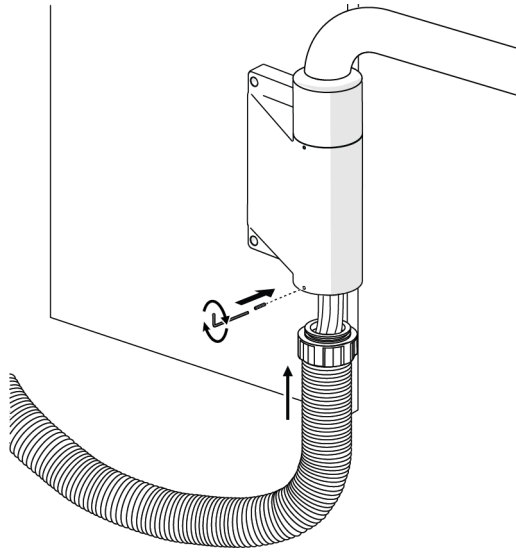
注意 チェアへの配線用に付属している追加のワイヤーやチューブを切断しないでください。製品が機能しなくなります。

- 5 ブラケット下部からフロアボックスまでの距離を測り、それに合わせてコンボリユートを切断します。



- 6 コンボリユートカラーを付け直し、アンビリカル、ワイヤー、データ回線をコンボリユートに通します。

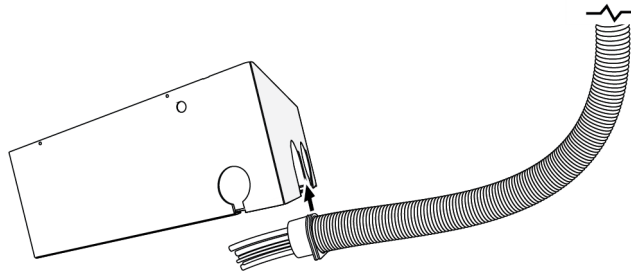




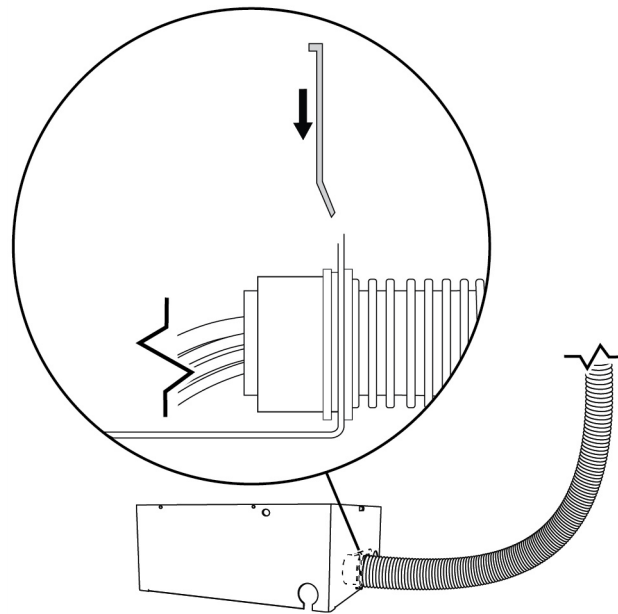
- 7** アンビカルカラーをブラケットに押し込み、1/16 インチの六角レンチと止めネジを使用してカラーをブラケットに固定します。



止めネジ - 実物大



- 8** フロアボックスの側面にあるアーチを、コンポリュートコネクタのスロットにスライドさせます。

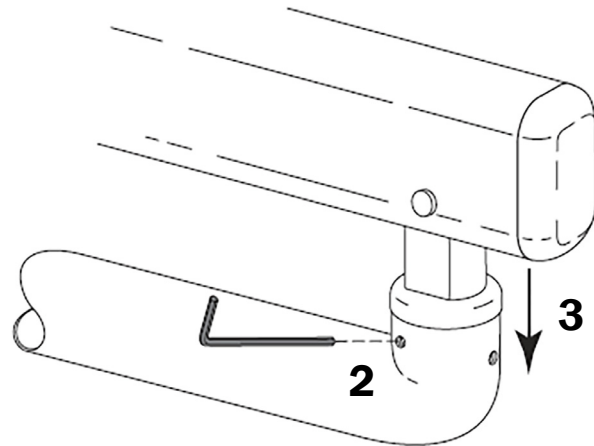


- 9** コンポリュートをフロアボックスに固定するには、コンポリュートクリップをコネクタのスロットにスライドさせます。

## デリバリーシステムの取り付け完了

### 固定アームへのフレックスアームの取り付け

- 1 固定アームから青いテープを取り外します。
- 2 止めネジを締めます。これによりスプリットリングが開き、フレックスアームを固定アームにしっかり取り付けることができます。
- 3 フレックスアームのナックルを固定アームハブ内にスライドさせます。



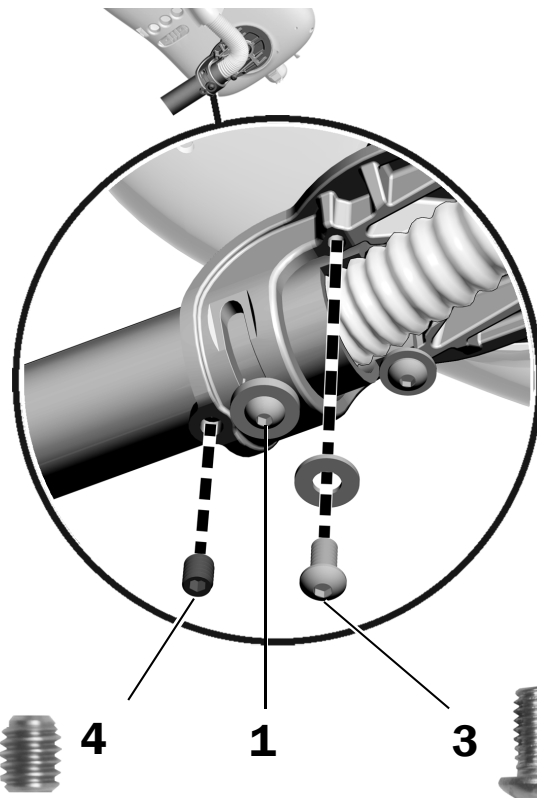
### コントロールヘッドの配置

- 1 ボタンボルトを緩めます。



**注** ボタンボルトを完全には引き出さないでください。コントロールヘッドを動かせる程度に緩めれば十分です。

- 2 コントロールヘッドを回転させ、レベリングスクリー用の穴の位置に合わせます。
- 3 1/4-20 x 1/2 インチのレベリングスクリーとワッシャーを取り付けて締めます。
- 4 3/8 インチ止めネジを取り付けます。
- 5 ボタンボルトを締めます。



実物大の3/8インチ止めネジ

ボタンボルト

実物大の1/2インチレベリングスクリー

## ウォーターボトルの取り付け

リモートマウントウォーターボトルの取り付けについては、ウォーターボトルに同梱の説明書を参照してください（部品番号（P/N）86.0469.05）。

## トレイ・ホルダーマウント（オプション）の取り付け

### 推奨する工具

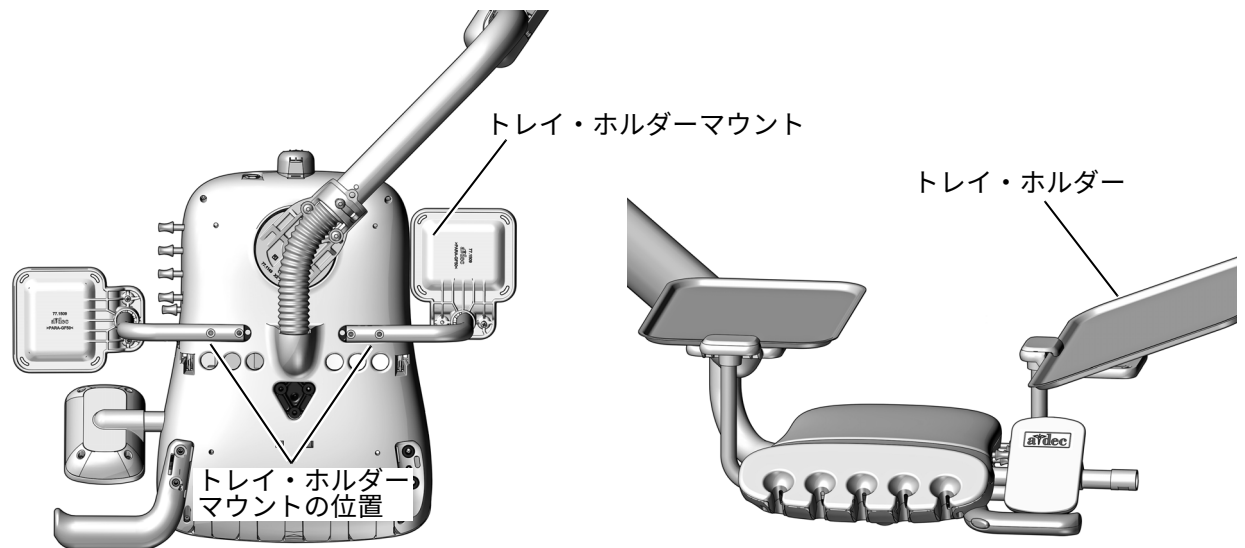
- 1/8 インチの六角レンチ

### 手順 1.

- 1 2本の 10-32 x 1 インチボタネボルトを使用して、コントロールヘッド底部にトレイ・ホルダーマウントを取り付けます。
- 2 トレイ・ホルダーの一端を上に向け、トレイ・ホルダーの縁をトレイ・ホルダーマウントの端の下に合わせ、トレイ・ホルダーを所定の位置に下げます。



**ヒント** トレイ・ホルダーマウントはコントロールヘッドのどちら側にも取り付けられますが、調整キーの反対側の側面に取り付けるとキーにアクセスしやすくなります。



342pro の図

## キャビネットでのデータ回線と電源ケーブルの接続

### キャビネットでのデータ回線の接続

システムの構成に適した手順を実行してください。

A-dec 342pro から A-dec Inspire 配電ボックスへのデータ回線の接続 .....	24
A-dec 342 から A-dec Inspire 配電ボックスへのデータ回線の接続 .....	25
A-dec 342pro/342 から Preference キャビネットへのデータ回線の接続 .....	26

### A-dec 342pro から A-dec Inspire 配電ボックスへのデータ回線の接続

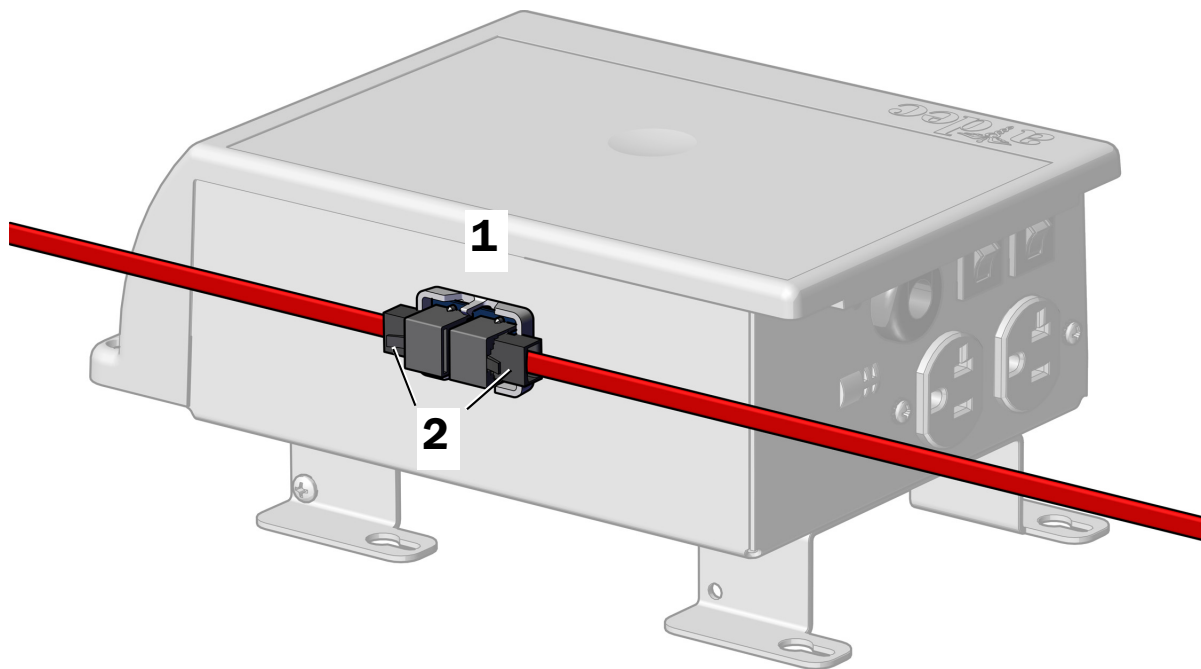


**注意** 赤の DCS2 データ回線は、Inspire キャビネット配電ボックスに接続することはできません。キャビネットからの DCS2 データ回線をチェア基板に接続するには、カプラーボードを使用する必要があります。



**ヒント** 配線時にアクセスしやすいよう、配電ボックスをキャビネットの外側に配置します。

1. カプラーボードの裏紙をはがし、配電ボックスの側面に貼り付けます。
2. デリバリーシステムにつながる赤の DCS2 データ回線をカプラーボードの一端に接続し、7.62 m (25 フィート) の赤の DCS2 データ回線をカプラーボードの他方の端に接続します。



3. 7.62 m (25 フィート) の DCS2 データ回線を歯科用椅子の電源装置まで配線します。

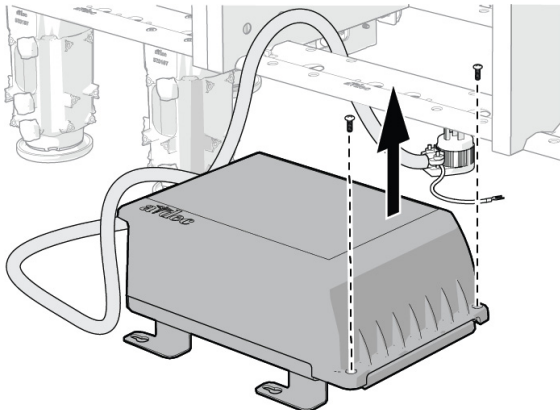
**次のステップ** 27 ページの「キャビネットでのデリバリーシステム電源ケーブルの接続」。

## A-dec 342 から A-dec Inspire 配電ボックスへのデータ回線の接続

### 推奨する工具

- プラスドライバー

1. プラスドライバーを使用して、配電ボックスの蓋を固定している 2 本のネジを取り外します。

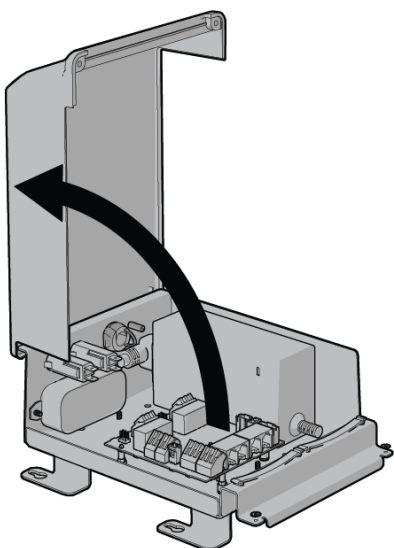


**注記** 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

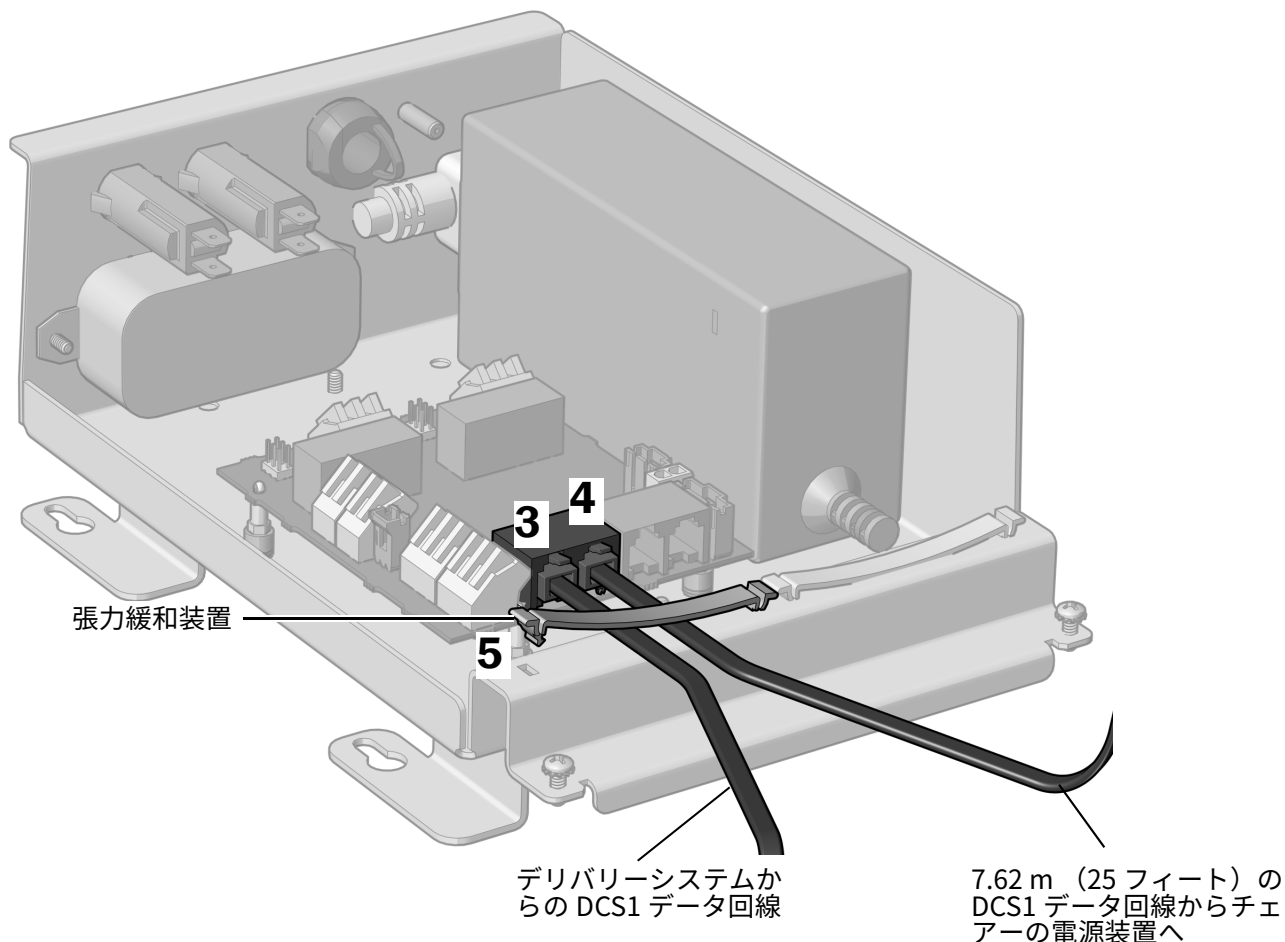


**警告** 感電の危険があります。カバーを外したり元に戻す際には、ワイヤーやチューブに損傷を与えないよう注意してください。また、カバーを再度取り付けた後は、しっかりと固定されていることを確認してください。

2. カバーを取り外します。



3. デリバリーシステムにつながる DCS1 データ回線を接続します。回線はどのデータポートに接続してもかまいません。
4. 7.62 m (25 フィート) の DCS1 データ回線を接続します。7.62 m (25 フィート) の回線はどのデータポートに接続してもかまいません。



5. 張力緩和装置の下にデータ回線を固定します。
6. 7.62 m (25 フィート) のデータ回線を歯科用椅子の電源装置まで配線します。

**次のステップ** 27 ページの「キャビネットでのデリバリーシステム電源ケーブルの接続」。

## A-dec 342pro/342 から Preference キャビネットへのデータ回線の接続

システムの構成に適した手順を実行してください。

- **342pro** : カプラーボードを使用して、デリバリーシステムにつながる DCS2 データ回線を 7.62 m (25 フィート) の DCS2 データ回線に接続します。チェアでは、7.62 m (25 フィート) の DCS2 データ回線を中継基板のグレーのポートに接続し、中継基板の黒のポートにつながる DCS1 データ回線をチェアに接続します。
- **342** : ケーブルスプリッターを使用して、デリバリーシステムにつながる DCS1 データ回線を 7.62 m (25 フィート) の DCS1 データ回線に接続します。

## キャビネットでのデリバリーシステム電源ケーブルの接続

システムの構成に応じたセクションに進んでください。

300 W スタンドアロン電源装置へのデリバリーシステム電源ケーブルの接続 ..... 27

リモート電源ケーブルへのデリバリーシステム電源ケーブルの接続 ..... 28

### 300 W スタンドアロン電源装置へのデリバリーシステム電源ケーブルの接続

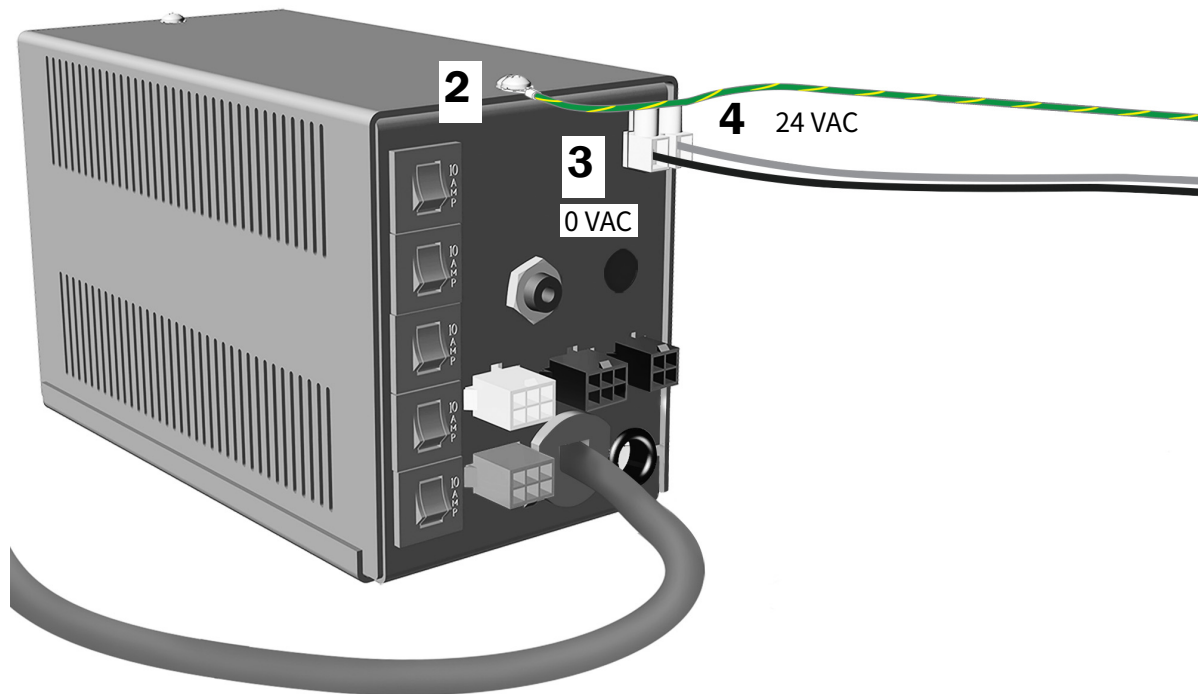
推奨する工具

プラスドライバー



**警告** この手順を開始する前に電源をオフにしないと、製品の損傷や、重傷または死亡事故につながるおそれがあります。

1. システムの電源をオフにします。
2. アース線を電源装置の上部に接続します。
3. 黒のワイヤーを 0 VAC に接続します。
4. グレーのワイヤーを 24 VAC に接続します。



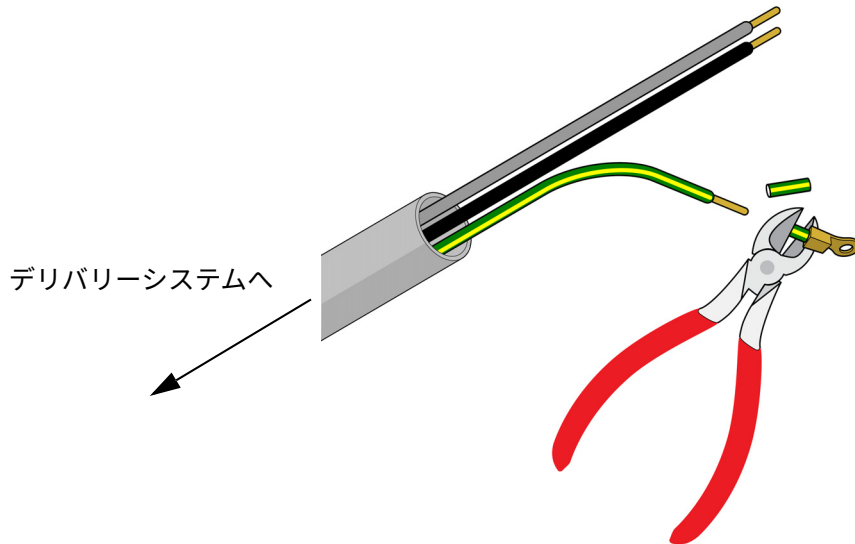
**次のステップ** 29 ページの「歯科用椅子でのリモート電源ケーブルとデータ回線の接続」を参照してください。

## リモート電源ケーブルへのデリバリーシステム電源ケーブルの接続

### 推奨する工具

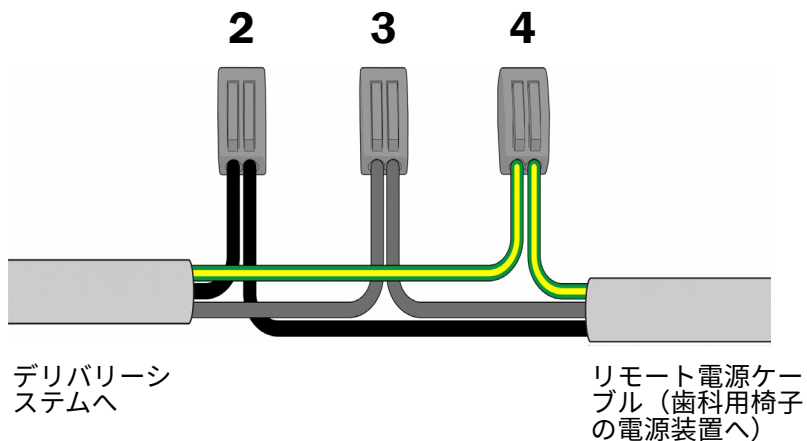
- 斜ニッパー
- ワイヤーストリッパー

1. デリバリーシステムの電源ケーブルの緑 / 黄のアース線からアイレットを切り取り、ワイヤーの被膜を 10 mm (3/8 インチ) はがします。



2. 黒のワイヤーをワイヤーコネクタで接続します。
3. グレーのワイヤーをワイヤーコネクタで接続します。
4. アース線をワイヤーコネクタで接続します。

キャビネットの下



5. リモート電源ケーブルを歯科用椅子の電源装置に接続します。



## 歯科用椅子でのリモート電源ケーブルとデータ回線の接続



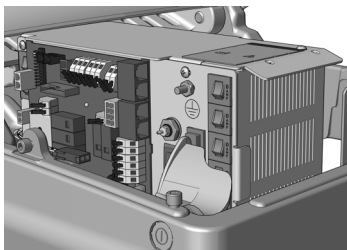
**注記** 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。



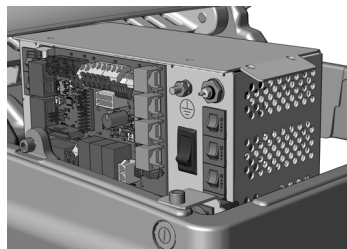
**警告** この手順を開始する前に電源をオフにしないと、製品の損傷や、重傷または死亡事故につながるおそれがあります。

### 1. システムの電源をオフにします。

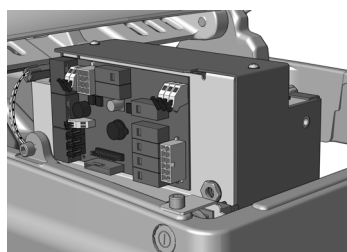
システムの構成に応じたセクションを参照してください。



2023年6月以降に製造された A-dec ユニバーサル電源装置へのリモート電源ケーブルとデータ回線の接続 ..... 30



2023年6月以前に製造された A-dec 311/411 電源装置へのリモート電源ケーブルとデータ回線の接続 .....36



A-dec 300 W スタンドアロン電源装置で使用する電源ケーブルとデータ回線の接続 .....39



A-dec 300 W スタンドアロン電源装置で使用する電源ケーブルとデータ回線の接続 ..... 39

## 2023年6月以降に製造された A-dec ユニバーサル電源装置へのリモート電源ケーブルとデータ回線の接続

システムの構成に適した手順を実行してください。

A-dec ユニバーサル電源装置への A-dec 342pro のリモート電源ケーブルとデータ回線の接続 .....30

A-dec ユニバーサル電源装置への A-dec 342 のリモート電源ケーブルとデータ回線の接続 .....31

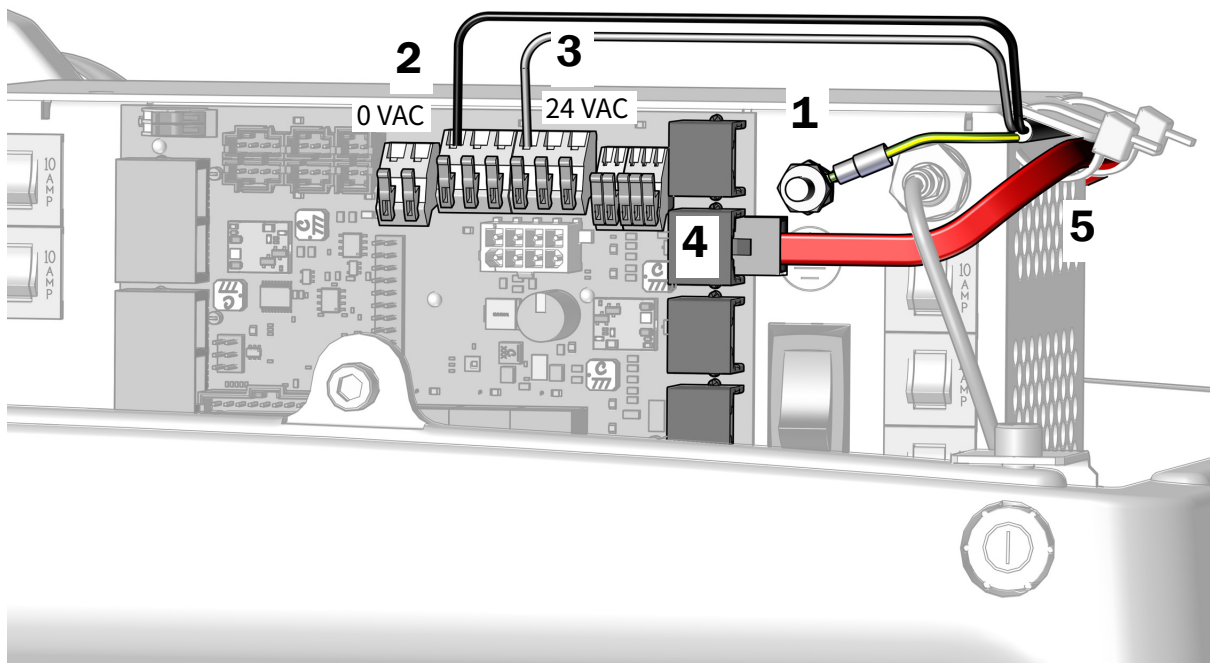
### A-dec ユニバーサル電源装置への A-dec 342pro のリモート電源ケーブルとデータ回線の接続

1. デリバリーシステムのアース線を接続します。
2. デリバリーシステムのケーブルの黒いワイヤーを 0 VAC ワイヤークネクタに接続します。
3. デリバリーシステムのケーブルのグレーのワイヤーを 24 VAC ワイヤークネクタに接続します。



**注** 必要に応じて、1つの端子に複数のワイヤーを接続することができます。

4. 赤の DCS2 データ回線をチェア側の足側にあるポートに差し込みます。
5. システムモジュールのすべての電気接続が完了したら、ワイヤーと赤の DCS2 データ回線を電源装置の緑の下に固定します。



**次のステップ** 40 ページの「チューブの接続」を参照してください。

## A-dec ユニバーサル電源装置への A-dec 342 のリモート電源ケーブルとデータ回線の接続

1. デリバリーシステムのアース線を接続します。
2. デリバリーシステムのケーブルの黒いワイヤーを 0 VAC ワイヤークネクタに接続します。
3. デリバリーシステムのケーブルのグレーのワイヤーを 24 VAC ワイヤークネクタに接続します。

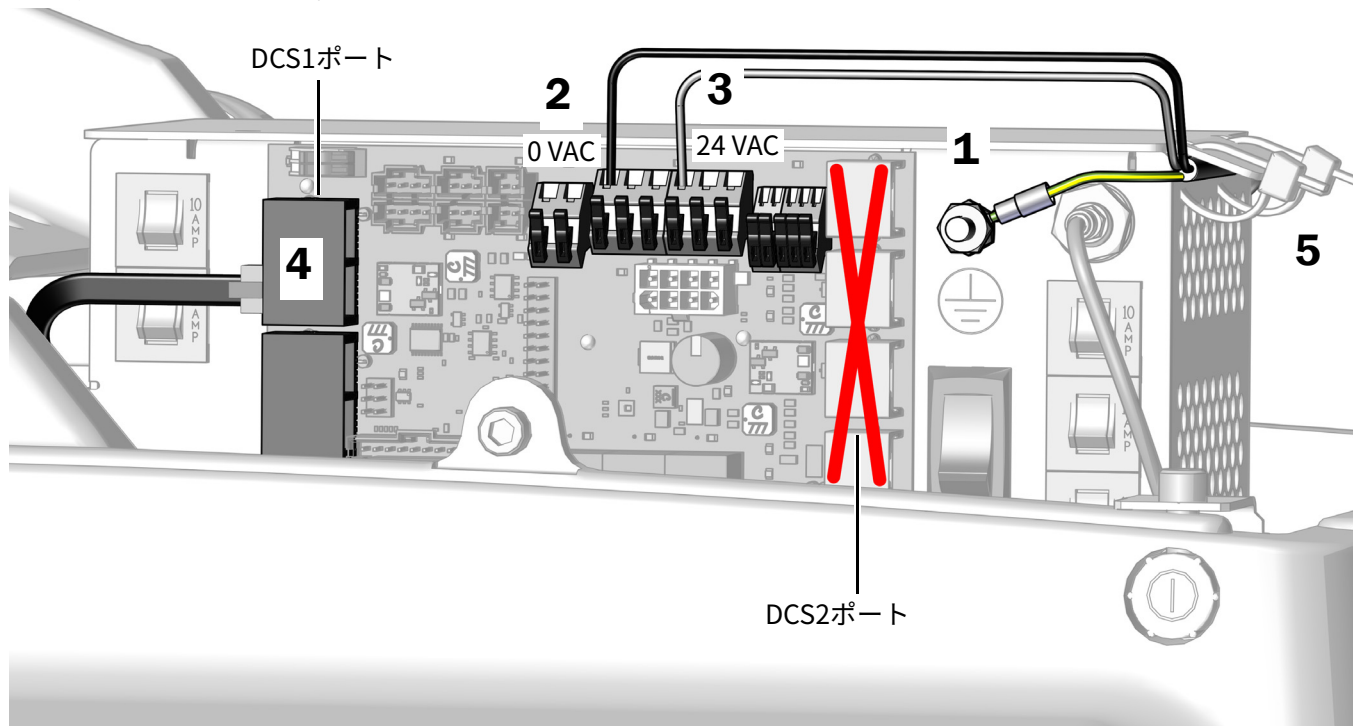


**注** 必要に応じて、1つの端子に複数のワイヤーを接続することができます。



**注意** 黒の DCS1 データ回線をチェアの足側にある DCS2 ポートに差し込むと、製品が損傷することがあります。

4. 黒の DCS1 データ回線をチェアの頭側にある DCS1 ポートに差し込みます。
5. システムモジュールのすべての電気接続が完了したら、ワイヤーを電源装置の縁の下に固定します。データ回線は固定されません。



**次のステップ** 40 ページの「チューブの接続」を参照してください。

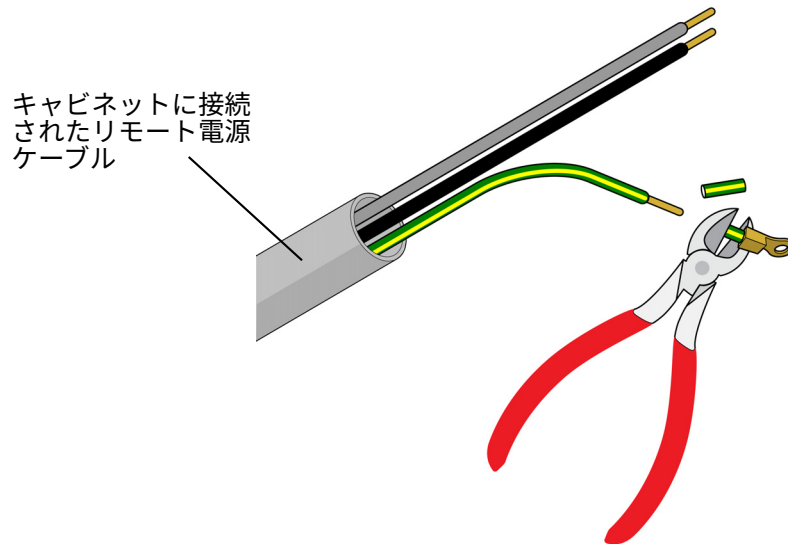
## 2023年6月以前に製造された A-dec 511 電源装置へのリモート電源ケーブルとデータ回線の接続

### 4 ポジション電源アダプターケーブルへのリモート電源ケーブルの接続

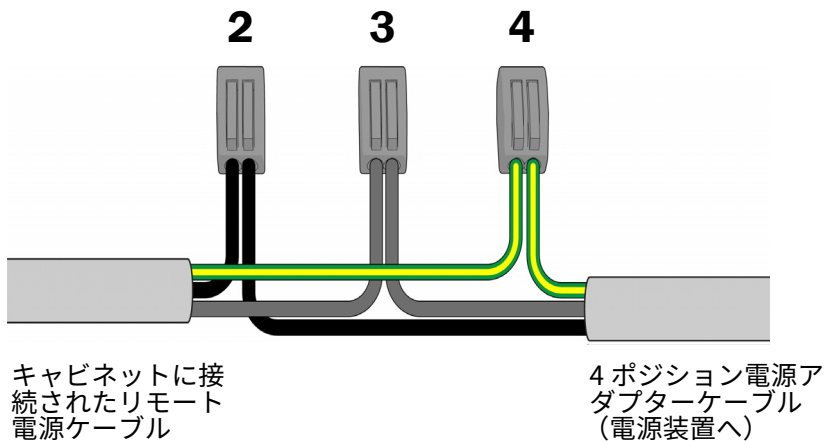
#### 推奨する工具

- 斜ニッパー
- ワイヤーストリッパー

1. リモート電源ケーブルの緑 / 黄のアース線からアイレットを切り取り、ワイヤーの被膜を 10 mm (3/8 インチ) はがします。



2. 黒のワイヤーをワイヤーコネクタで接続します。
3. グレーのワイヤーをワイヤーコネクタで接続します。
4. アース線をワイヤーコネクタで接続します。



## A-dec 511 電源装置への 4 ポジション電源アダプターケーブルとデータ回線の接続

システムの構成に適した手順を実行してください。

A-dec 511 電源装置への A-dec 342pro の電源アダプターケーブルとデータ回線の接続..... 33

A-dec 511 電源装置への A-dec 342 の電源アダプターケーブルとデータ回線の接続..... 35

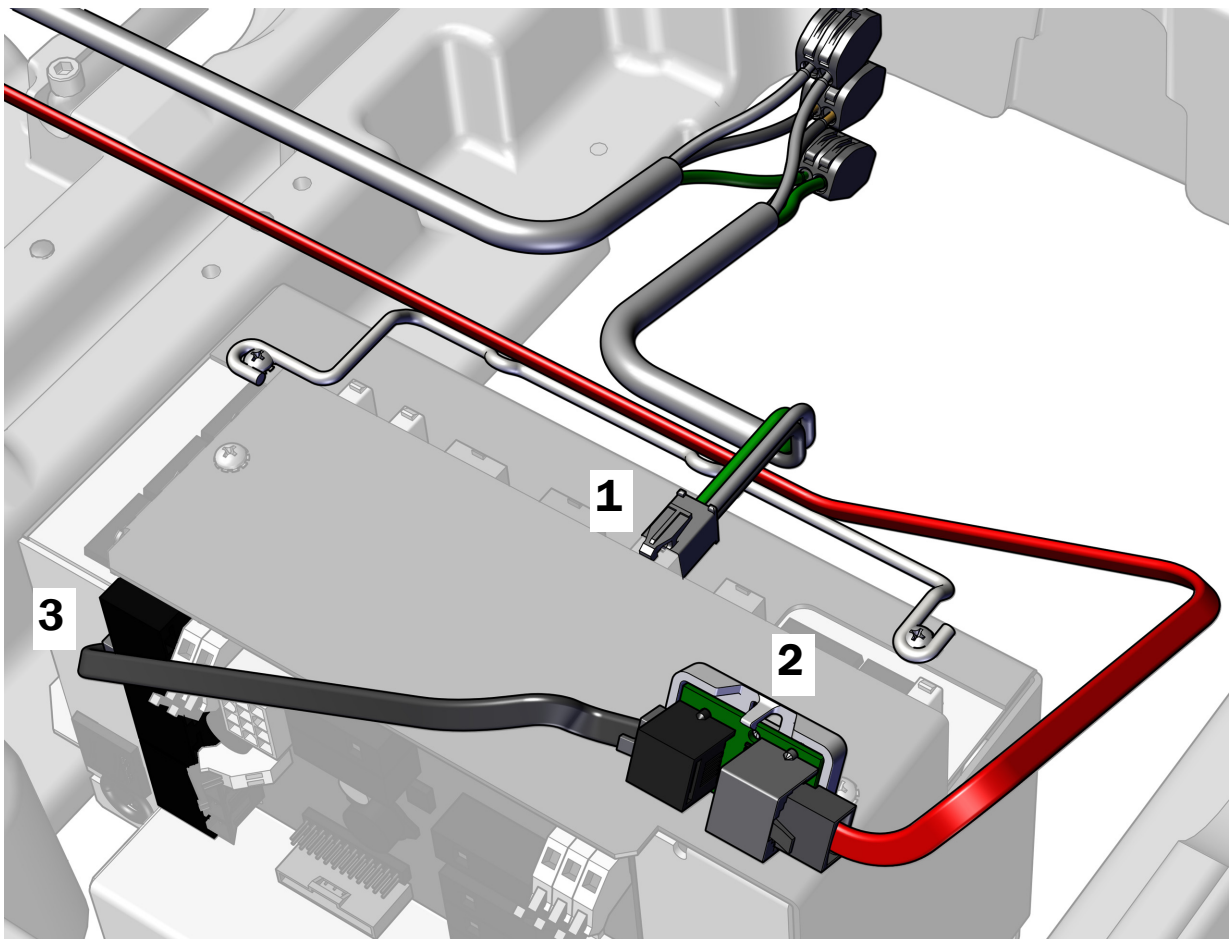
## A-dec 511 電源装置への A-dec 342pro の電源アダプターケーブルとデータ回線の接続

### 推奨する工具

- プラスドライバー
- 斜ニッパー

### 手順 1.

1. 4 ポジション電源アダプターコネクタを差し込みます。
2. グレーの DCS2 ポートがチェアーの足側を向くように中継基板を配置し、赤の DCS2 データ回線をグレーのポートに、黒の DCS1 データ回線を黒のポートにそれぞれ接続します。
3. 中継基板の黒いポートから、黒の DCS1 データ回線を電源装置のポートに接続します。



## 手順 2.



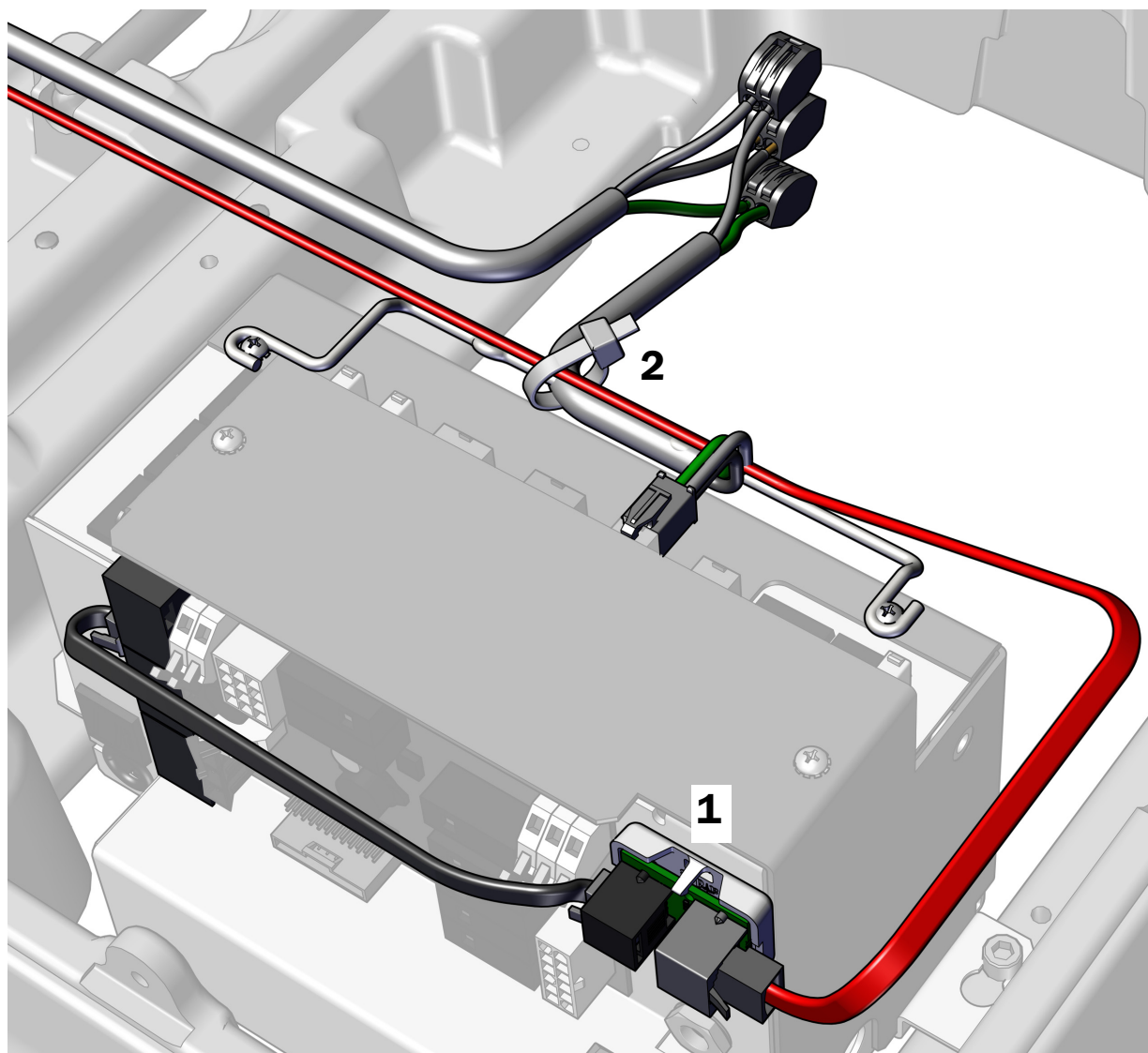
**注意** 中継基板は、電源装置シャーシの上部には取り付けないでください。ポンプカバーを適切に取り付けられなくなります。

1. 中継基板に付いている保護紙をはがします。中継基板を電源装置前面の右上隅に取り付けます。



**注** 電源装置にすでに発光ダイオード（LED）ライト用のアダプター基板が取り付けられている場合は、その下に中継基板を重ねてください。

2. すべてのモジュールを電源装置に接続したら、ケーブル留めでワイヤーをベイルに固定します。

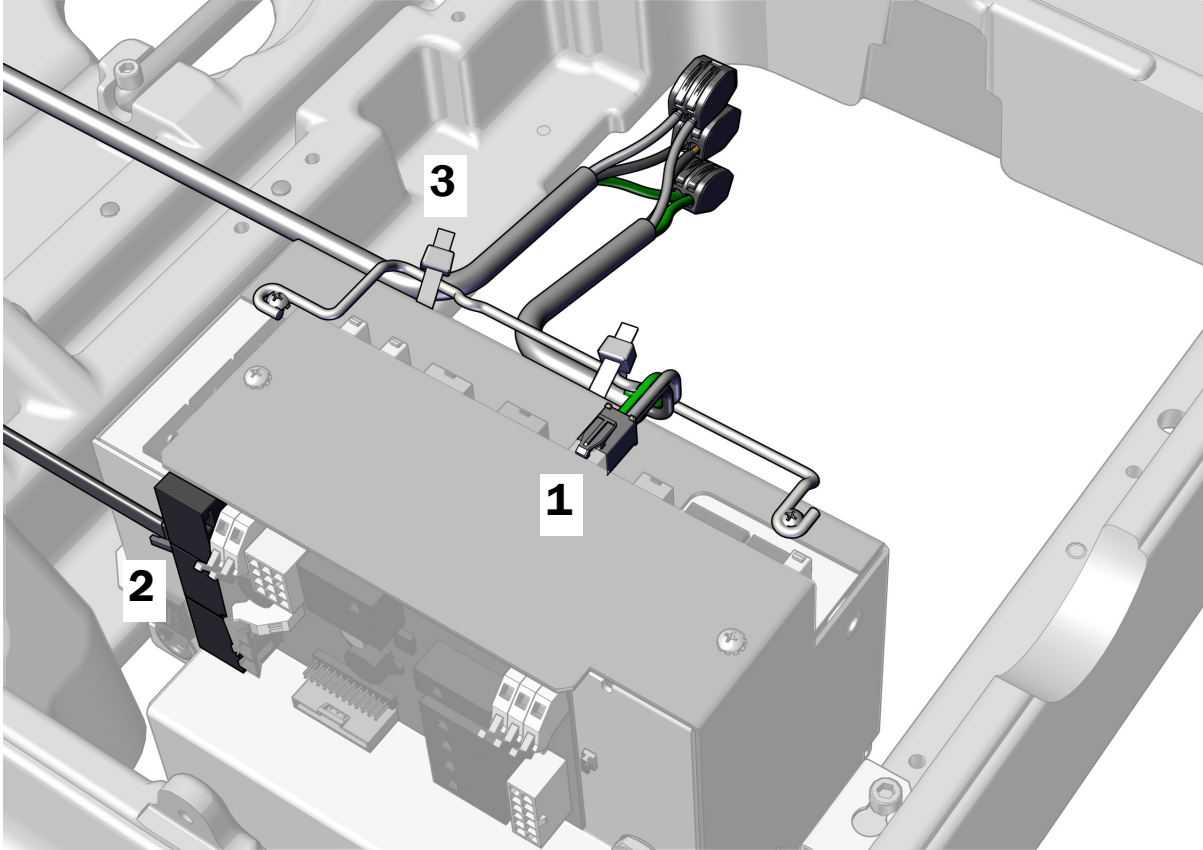


**次のステップ** 40 ページの「チューブの接続」を参照してください。



### A-dec 511 電源装置への A-dec 342 の電源アダプターケーブルとデータ回線の接続

1. 4 ポジション電源アダプターコネクタを差し込みます。
2. DCS1 データ回線をいずれかのデータポートに差し込みます。
3. システムモジュールのすべての電気接続が完了したら、ワイヤーを電源装置のベイルに固定します。



## 2023年6月以前に製造された A-dec 311/411 電源装置へのリモート電源ケーブルとデータ回線の接続

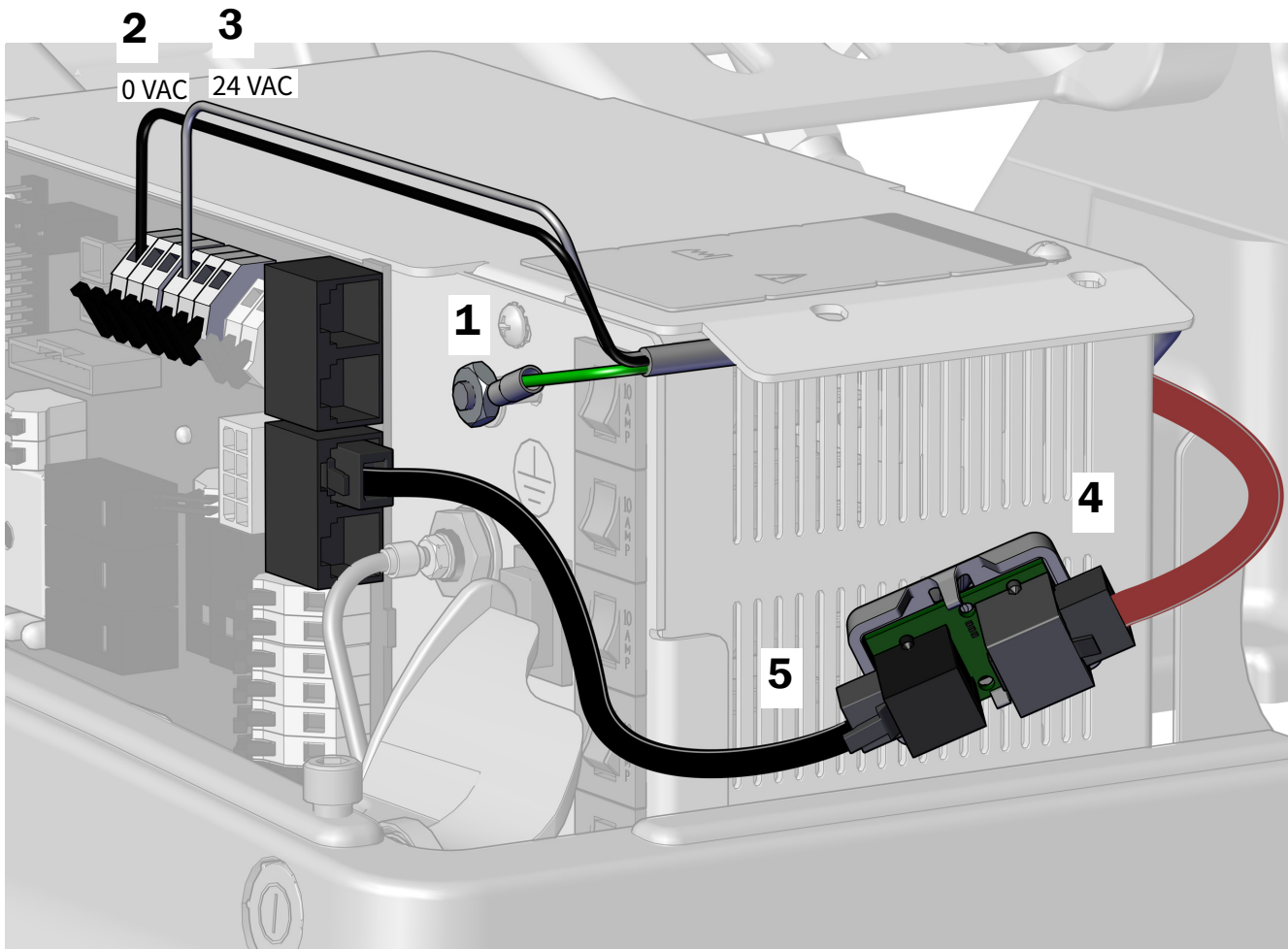
システムの構成に適した手順を実行してください。

A-dec 311/411 電源装置への A-dec 342pro のリモート電源ケーブルとデータ回線の接続 .....36

A-dec 311/411 電源装置への A-dec 342 のリモート電源ケーブルとデータ回線の接続 .....38

### A-dec 311/411 電源装置への A-dec 342pro のリモート電源ケーブルとデータ回線の接続 手順 1.

1. アース線を電源装置の支柱に取り付けます。
2. デリバリーシステムのケーブルの黒いワイヤーを 0 VAC ワイヤークネクタに接続します。
3. デリバリーシステムのケーブルのグレーのワイヤーを 24 VAC ワイヤークネクタに接続します。
4. 中継基板のグレーのポートを電源装置の背面に配置し、赤の DCS2 データ回線をグレーのポートに接続します。
5. 中継基板の黒いポートから、黒の DCS1 データ回線を電源装置のいずれかのデータポートに接続します。





**手順 2.**

1. 中継基板に付いている保護紙をはがします。



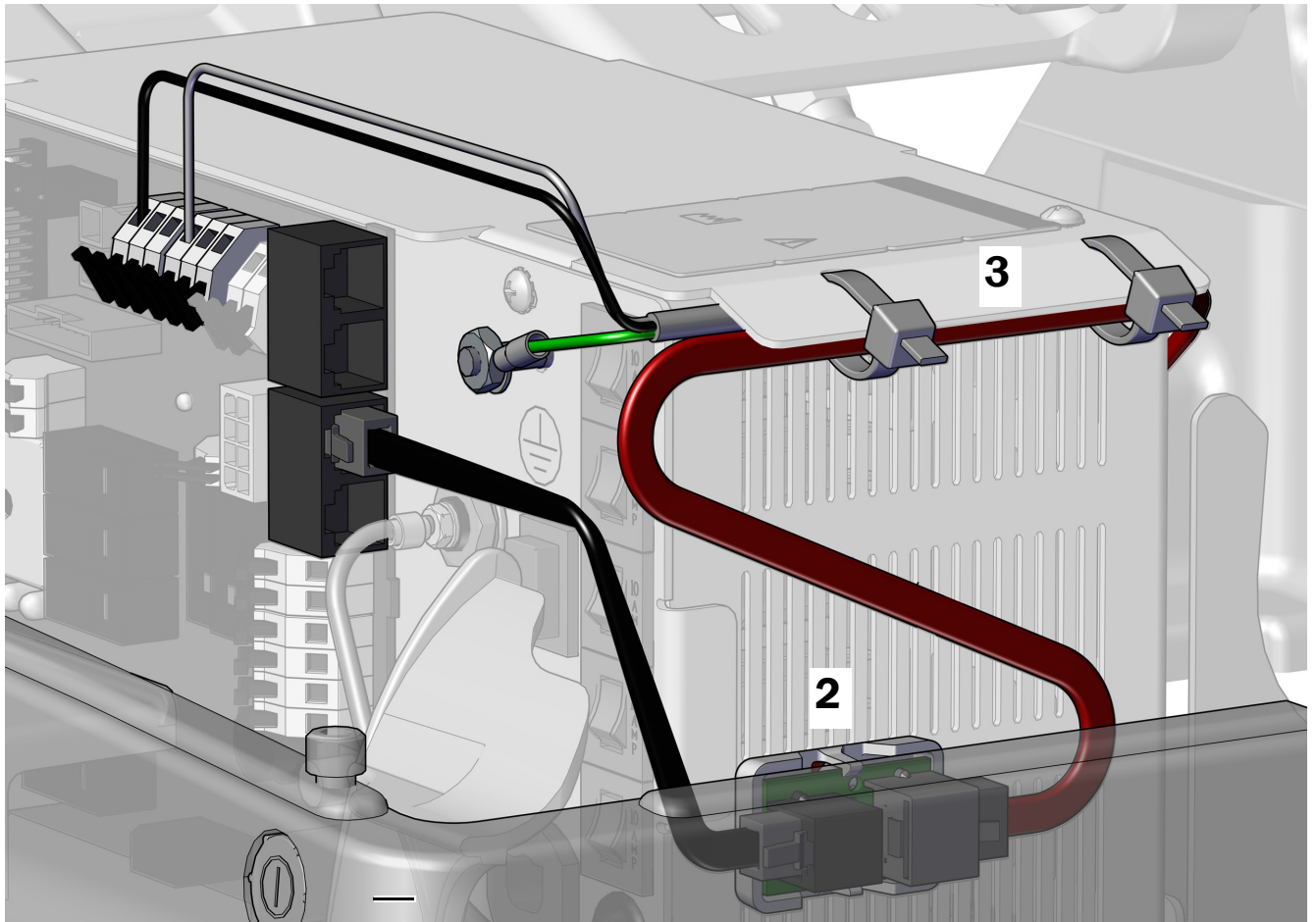
**注意** 他の装置への損傷や干渉を防ぐため、中継基板は必ずこの位置に取り付けてください。

2. 中継基板を電源装置の側面（チェアの足側を向いている方）に取り付けます。スタブおよび中央通気口の最下部に位置を合わせます。



**注** 電源装置にすでに発光ダイオード（LED）ライト用のアダプター基板が取り付けられている場合は、その下に中継基板を重ねてください。

3. すべてのモジュールを電源装置に接続したら、ワイヤーを電源装置の縁の下に固定します。



**次のステップ** 40 ページの「チューブの接続」を参照してください。

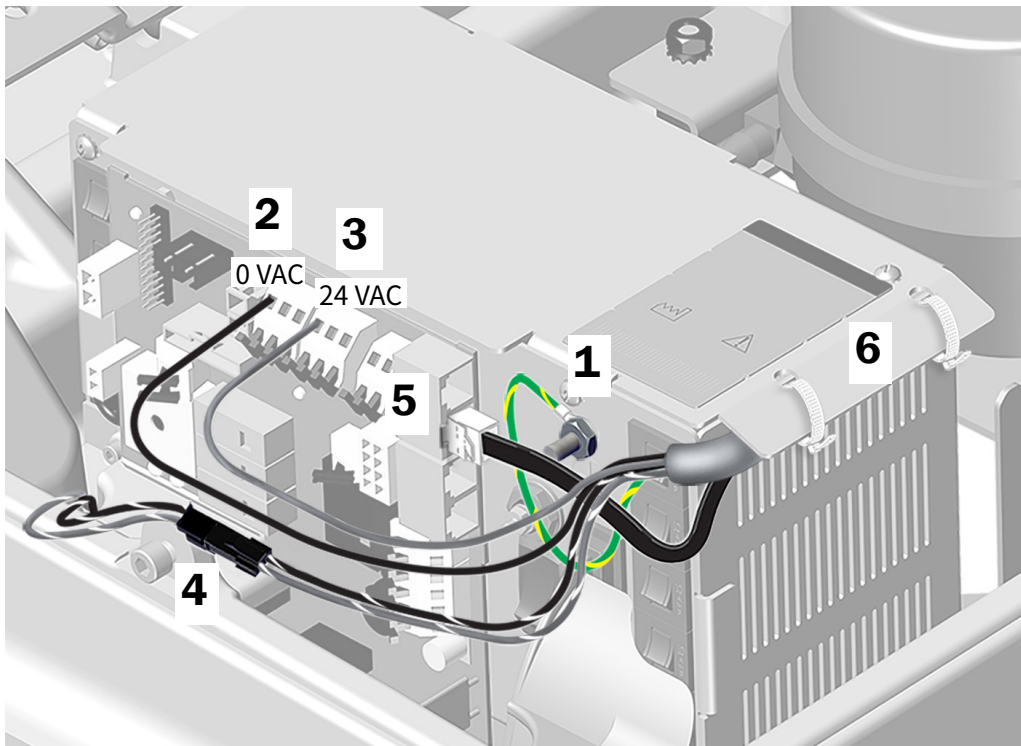
## A-dec 311/411 電源装置への A-dec 342 のリモート電源ケーブルとデータ回線の接続

1. 緑 / 黄のアース線を電源装置のハウジングのアース端子に取り付けます。
2. デリバリーシステムのケーブルの黒いワイヤーを 0 VAC ワイヤークネクタに接続します。
3. デリバリーシステムのケーブルのグレーのワイヤーを 24 VAC ワイヤークネクタに接続します。



**注** 必要に応じて、1つの端子に複数のワイヤーを接続することができます。

4. 2 ポジションコネクタを 24 VAC 絶縁リードに接続します（ある場合）。
5. データ回線を DCS1 データポートの 1 つに差し込みます。どのポートに接続してもかまいません。
6. ケーブル留めを使用して、縁の下にワイヤーとデータ回線を固定します。



**次のステップ** 40 ページの「チューブの接続」を参照してください。

## A-dec 300 W スタンドアロン電源装置で使用する電源ケーブルとデータ回線の接続

### A-dec 300 W スタンドアロン電源装置で使用する電源ケーブルの接続

27 ページの「300 W スタンドアロン電源装置へのデリバリーシステム電源ケーブルの接続」を参照してください。

### A-dec 300 W スタンドアロン電源装置で使用するデータ回線の接続

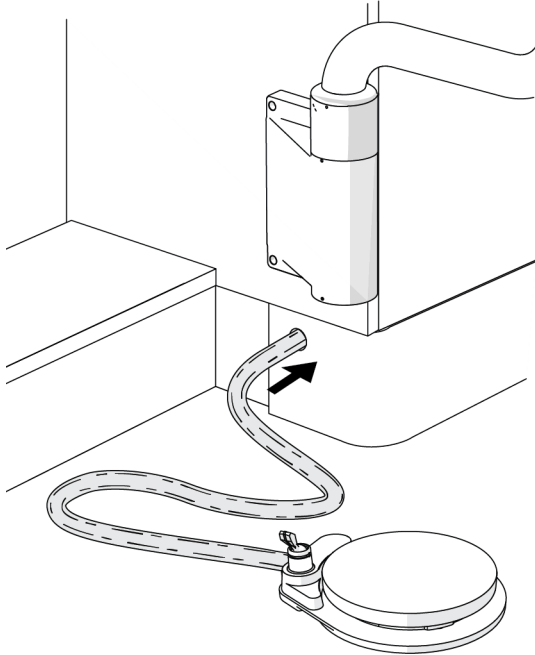
キャビネットにつながる 7.62 m (25 フィート) のデータ回線の接続方法については、システム構成のセクションを参照してください。

A-dec ユニバーサル電源装置への A-dec 342pro のリモート電源ケーブルとデータ回線の接続 .....	30
A-dec ユニバーサル電源装置への A-dec 342 のリモート電源ケーブルとデータ回線の接続 .....	31
A-dec 511 電源装置への A-dec 342pro の電源アダプターケーブルとデータ回線の接続 .....	33
A-dec 511 電源装置への A-dec 342 の電源アダプターケーブルとデータ回線の接続 .....	35
A-dec 311/411 電源装置への A-dec 342pro のリモート電源ケーブルとデータ回線の接続 .....	36
A-dec 311/411 電源装置への A-dec 342 のリモート電源ケーブルとデータ回線の接続 .....	38

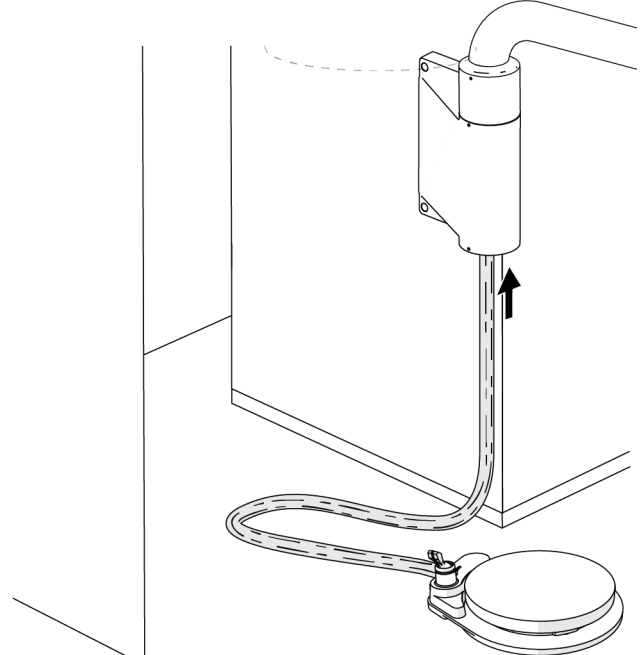
## チューブの接続

### フットコントロールの取り付け

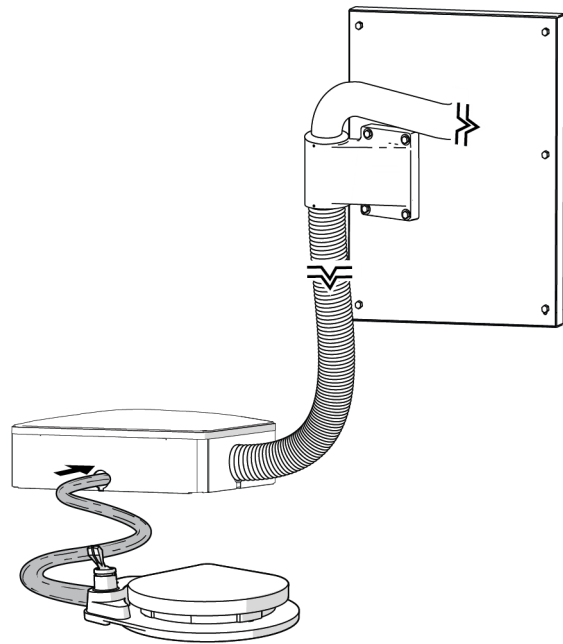
設置場所に合わせてフットコントロールチューブを配管します。



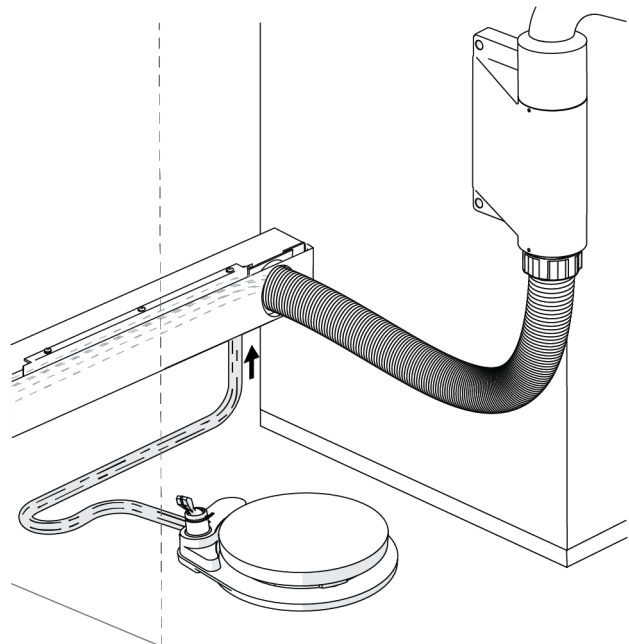
A-dec Inspireキャビネット



Preferenceキャビネット - シンクに隣接



壁マウント



Preferenceキャビネット - シンクの反対側

## チューブの接続

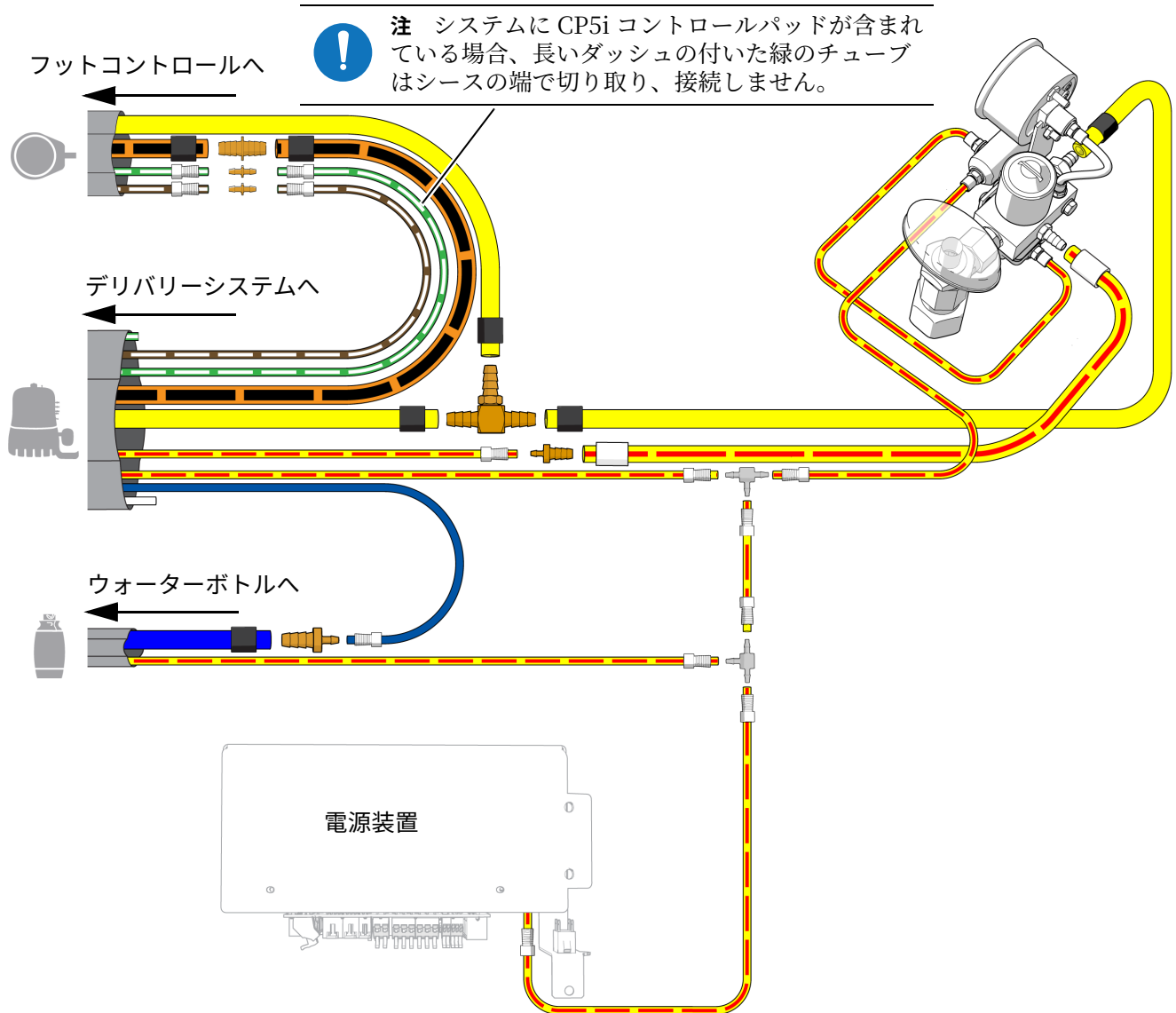
以下のフローチャートに従ってチューブを接続します。



注 A-dec 511 電源装置への接続には、キットに含まれるクイックディスコネクトを使用します。



注 A-dec 311/411 歯科用椅子へのパイロットエア用配管の接続については、『A-dec 311/411 歯科用椅子への A-dec 341pro/341flt/342pro/342/541pro/541 デリバリーシステムまたは A-dec 545sta/545 歯科助手用器具の接続サービスガイド』（部品番号 (P/N) 86.0160.05) を参照してください。

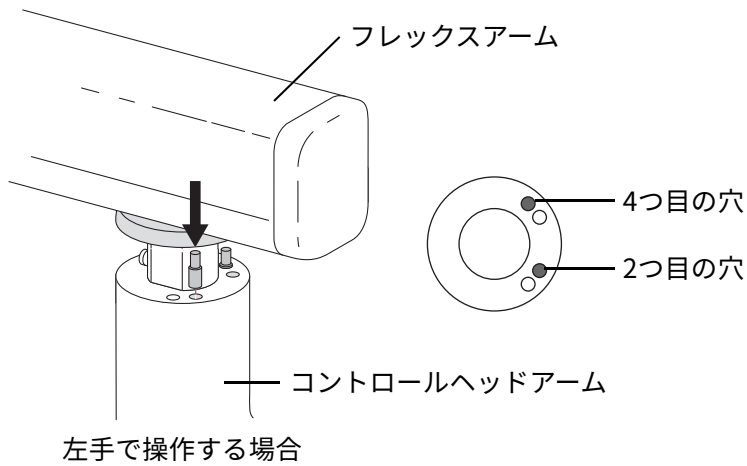


## システムの調整

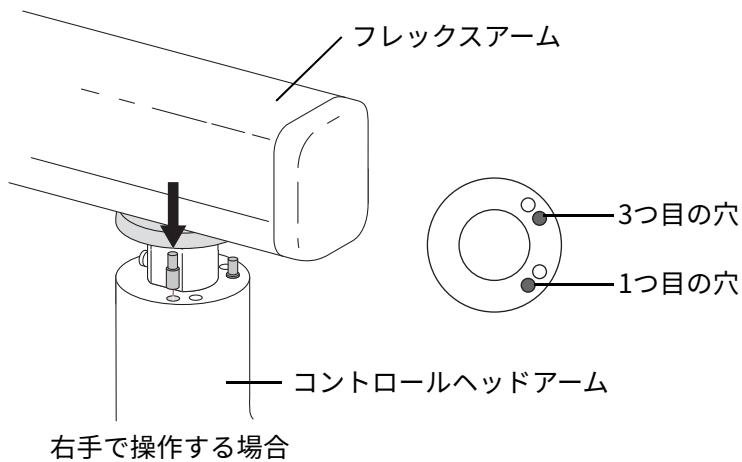
### 回転停止ピンの挿入

**1** 回転停止ピンを大径を下にして挿入します。

- 左手で操作する場合：ピンを2つ目と4つ目の穴に挿入します。

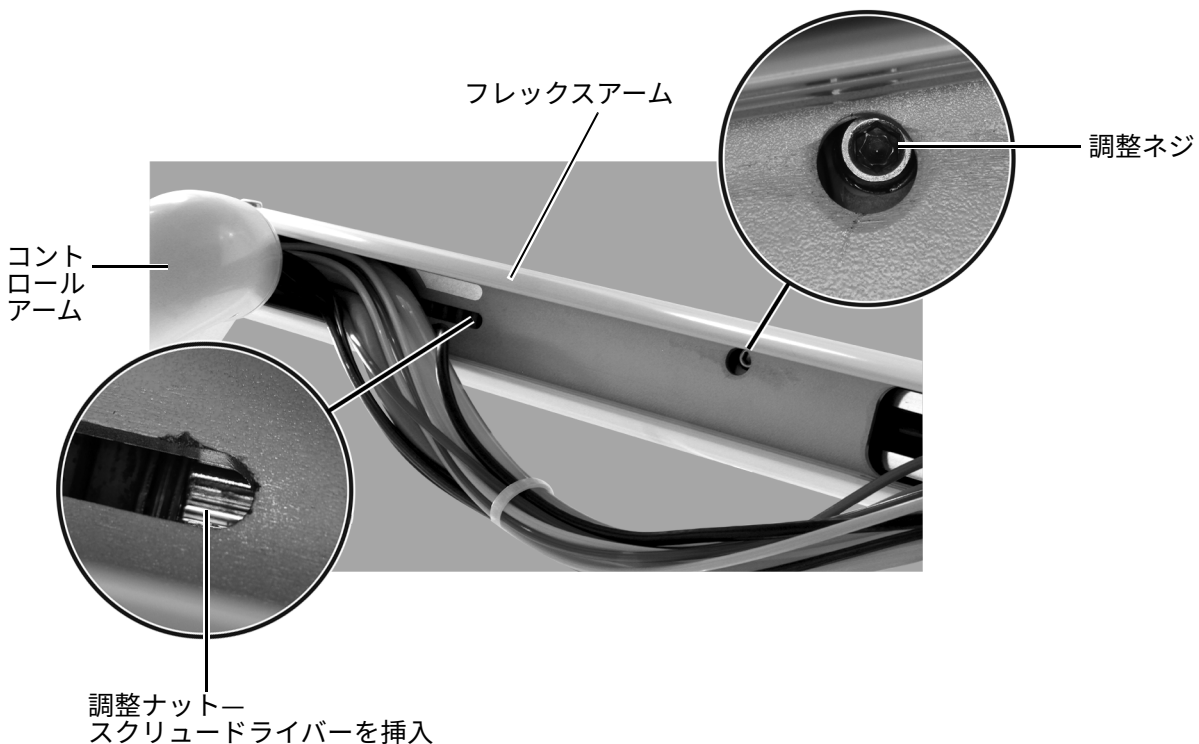


- 右手で操作する場合：ピンを1つ目と3つ目の穴に挿入します。



## フレックスアームのカウンターバランスの調整

- 1 コントロールヘッドに通常使用時と同じ荷重をかけます。ハンドピースを取り付けます。トレイ・ホルダーがある場合は、器具を使ってトレイをトレイ・ホルダーに取り付けます。
- 2 コントロールヘッドを一番下のポジションまで動かします。
- 3 この段階で、コントロールヘッドがずれないか確認してください。
- 4 フレックスアームの下にあるカバーを外します。
- 5 フレックスアームの下に手が届くよう、ハンドピース管に十分なゆりみがあることを確認します。
- 6 フレックスアームを上げ、次の部品へのアクセスを確保します。
  - 調整ナット：コントロールヘッドの重量に合わせて均衡を保つバネ。
  - 調整ネジ：コントロールヘッドの縦方向位置を維持する摩擦機構。

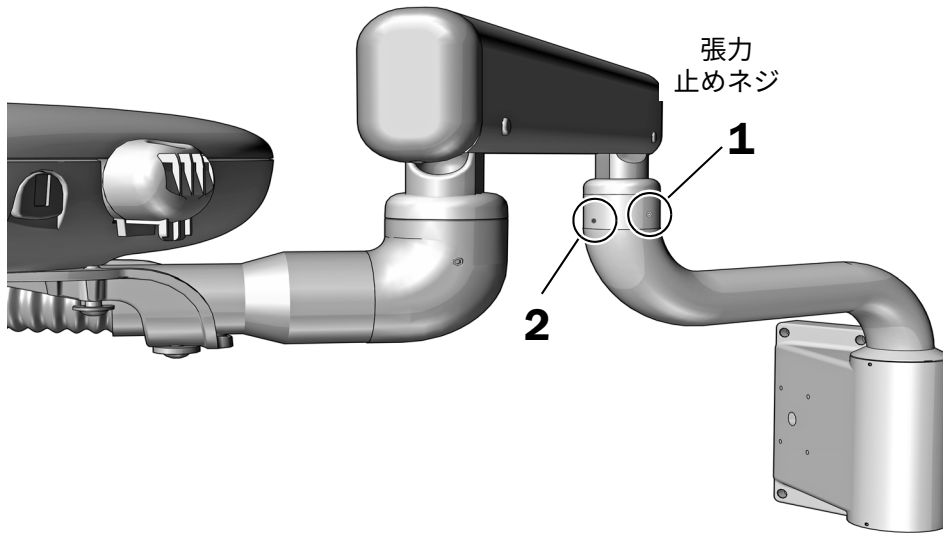


- 7 カウンターバランスを調整するには、スクレュードライバーで調整ナットの締め付けを調節します。
  - コントロールヘッドが上にずれる場合は、反時計回りに回転。
  - コントロールヘッドが下にずれる場合は、時計回りに回転。
- 8 調整が完了したら、アームを完全に上げた状態と下げた状態にし、各ポジションでコントロールヘッドをリリースします。フレックスアームがいずれかの方向にずれる場合は、5/32 インチの六角レンチで調整ネジを締めてください。



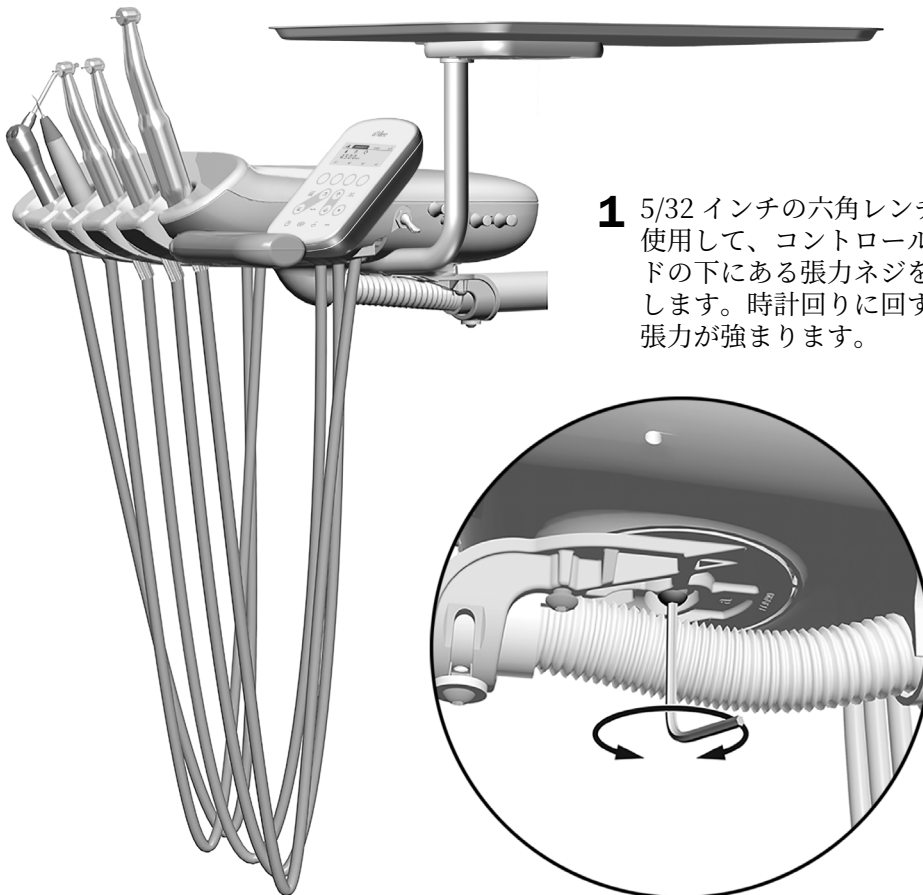
**注意** 摩擦機構の破損につながるため、調整ネジは締めすぎないように注意してください。

## フレックスアームの回転張力の調整



- 1** 3/32 インチの六角レンチを使用して、止めネジの張力を調整します。ずれない程度にきつく、ある程度の力で回るくらいのゆるさが理想です。時計回りに回すと、張力が強まります。
- 2** 調整が完了したら、同じ六角レンチでもう1本のネジをしっかりと締めます。

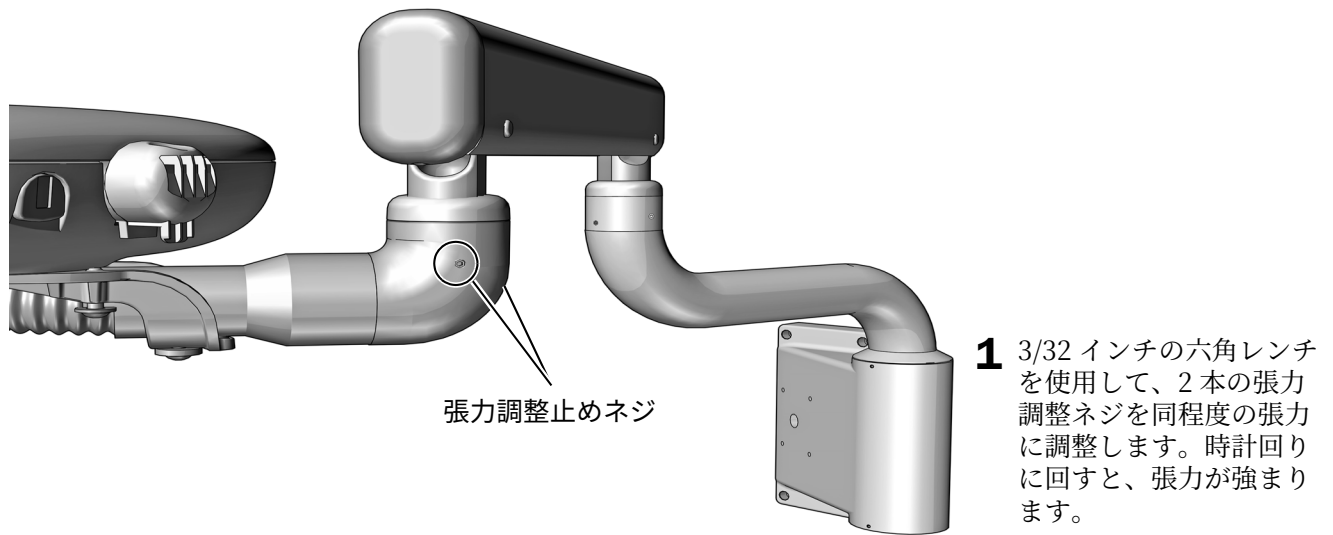
## コントロールヘッドの回転張力の調整



- 1** 5/32 インチの六角レンチを使用して、コントロールヘッドの下にある張力ネジを調整します。時計回りに回すと、張力が強まります。



## コントロールアームの回転張力の調整



## トレイ・ホルダーマウント回転張力の調整



- 1** プラスドライバーを使用して押さえネジを取り外します。キャップを取り外します。
- 2** 7/32 インチの六角レンチをテンションボルトに差し込み、時計回りに回して張力を強めます。
- 3** キャップを元に戻し、ネジで固定します。

## 口腔内光源の調整

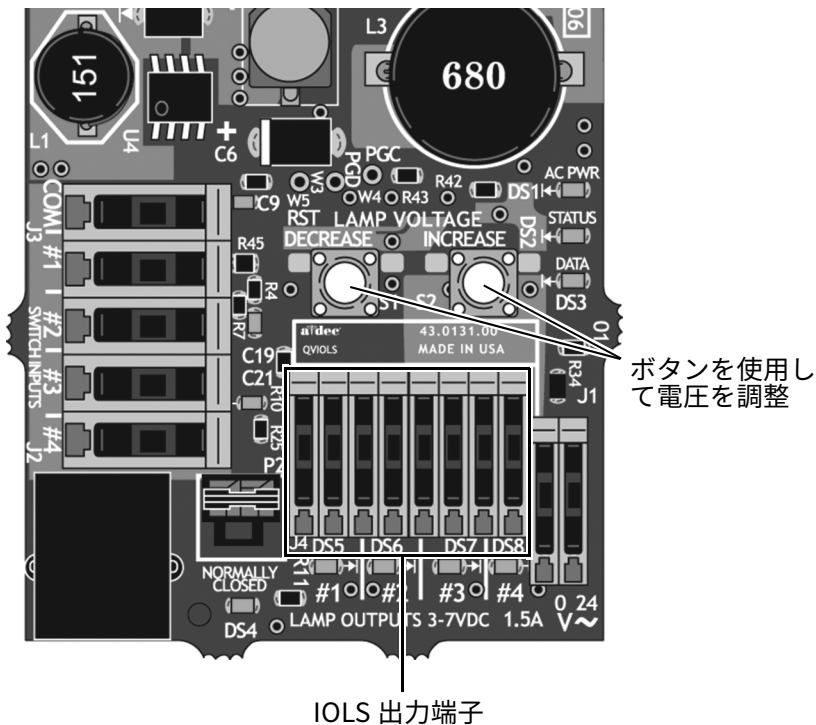
### 推奨する工具

- 7/64 インチの六角レンチ
- 電圧計



**注記** 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

1. 六角レンチを使用して、コントロールヘッドの背面カバーを外します。
2. DC 電圧に電圧計をセットし、計測するハンドピースの IOLS 出力端子に探針を取り付けます。



3. ハンドピースをホルダーから取り上げ、ライトをオンにします。
4. 端子の後ろにあるボタンを使用し、次のページの表に従って電圧を調整します。



**注意** 以下の表に示す値は、26 AWG ワイヤー、750 mA 負荷、およびバルブでの電圧が推奨値 3.2 VDC の光ファイバーの場合のみ有効です。26 AWG ワイヤーとその他の定格で電力が供給される光ファイバーについては、 $T = (Z \times 0.006 \times Y) + X$  という数式で計算してください。各項は以下を示します。

**T** = 端子板電圧 (VDC)

**X** = バルブにおける目標電圧 (VDC)

**Y** = 定格ランプ / 負荷電流 (アンペア値)

**Z** = 端子板からバルブまでの 26 AWG ワイヤーの長さ (インチ)

26 AWG 以外のワイヤージージを使用する機器については、A-dec カスタマーサービスまでお問い合わせください。

**バルブ (定格 3.20 VDC) の長さおよび電圧の表**

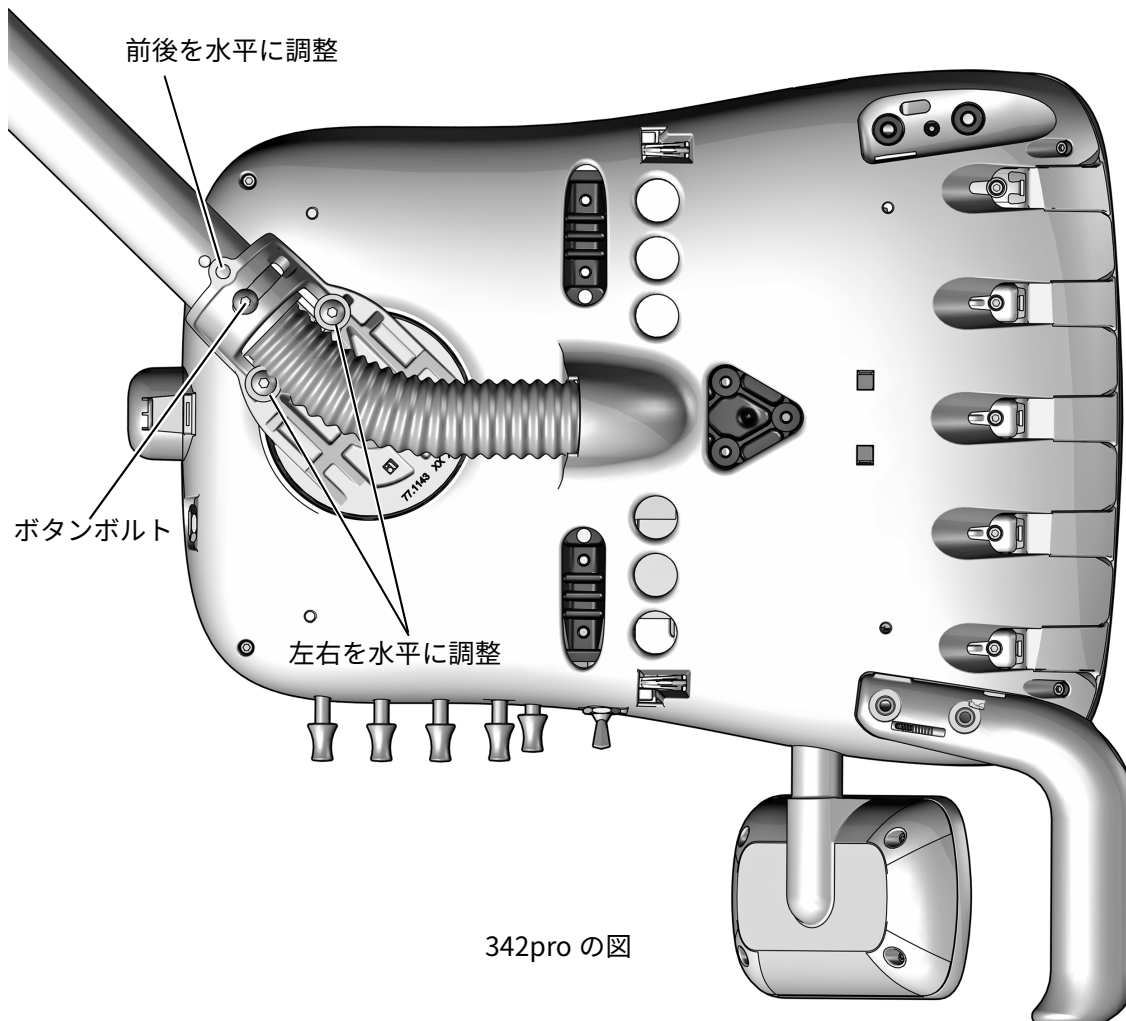
A-dec チューブの長さ (インチ)                      (cm)		バルブでの電圧を推奨値 3.20 VDC +/- 0.03 にするための端子板での電圧 (IOLS 点灯時に測定)		
		0.200 A	0.380 A	0.750 A
50	127	3.37	3.52	3.84
64	163	3.42	3.61	4.02
85	216	3.49	3.75	4.28

## デリバリーシステムの水平調整

### 推奨する工具

- 5/32 インチの六角レンチ

1. コントロールヘッドを通常使用時の位置まで動かします。
2. コントロールヘッドの上に水準器を置きます。
3. 六角レンチを使用して、コントロールヘッドを所定の位置に維持しながらボタンボルトを若干緩めます。
4. コントロールヘッドを平行にするため以下の調整を行ってください。調整を行うときは、水準器を調整用のネジに合わせます。
  - 六角レンチを使用して、コントロールヘッドの左右を水平にします。
  - 六角レンチを使用して、コントロールヘッドの前後を水平にします。
5. ボタンボルトを締めて、コントロールヘッドを適切な位置に取り付けます。



## タッチコントロール設定のカスタマイズ



注 タッチコントロール上の記号やアイコンは、A-dec, Inc. の専有物です。

お使いのシステムのコントロールインターフェイスの種類に応じたセクションを参照してください。

CP5 コントロールパッド ..... 49

A-dec 300 Deluxe タッチパッド ..... 50

標準タッチパッド ..... 52

### CP5 コントロールパッド



タッチスクリーンとコントロールパッドの使用については、以下のリンクから『*A-dec DS76/CP5i/CP5*タッチコントロール使用方法』（部品番号 (P/N) 86.0857.05）を参照してください。

[a-dec.com/touchscreen-manual](http://a-dec.com/touchscreen-manual)



接続機能の設定については、以下のリンクから『*A-dec+™*ソフトウェアプラットフォーム使用方法』（部品番号 (P/N) 86.1030.05）を参照してください。

[a-dec.com/connectivity-manual](http://a-dec.com/connectivity-manual)



## A-dec 300 Deluxe タッチパッド

### 整備技師用タッチパッド設定

ユーザーの好みに合わせてハンドピースとタッチパッドの設定を調整するには、**m** と **e** を同時に長押しします。[System Setup] 画面が表示されたら、▶ を押します。

### A-dec 300 Deluxe タッチパッドの設定画面の例



### タッチパッドボタンでのナビゲーション

設定モードでは、チェアボタンがナビゲーションボタンとして機能します。背板の上昇 (▶)、背板降下 (◀)、ベース上昇 (▲)、ベース降下 (▼) のほか、マイナス (－) およびプラス (＋) ボタンを使用して画面を操作し、設定画面で調整や選択を行います。

### コントラスト / ヘルプメッセージの設定

タッチパッドの画面コントラストを調整したり、ヘルプメッセージのオン / オフを切り替えるには、以下の手順を実行します。

1. Deluxe タッチパッドのメイン画面で、**m** と **e** を同時に 3 秒間長押ししてから、▶ を押して開始します。
2. [System Setup] 画面で、－ または ＋ を押して [Touchpad] を選択し、▶ を押して開始します。
3. [Touchpad Setup] 画面で、[Contrast Adjust] または [Help Messages] が画面に表示されるまで － または ＋ を長押しし、続いて ▶ を押して [Contrast Adjust Setup] または [Help Messages Setup] 画面を開きます。
  - [Contrast Adjust Setup] 画面では：－ または ＋ を押してコントラストを調整してから、▶ を押して設定を保存します。ビープ音が 3 回鳴り、設定が保存されたことを示します。
  - [Help Messages Setup] 画面では：－ または ＋ を押してヘルプメッセージを [On] または [Off] にしてから、▶ を押して設定を保存します。ビープ音が 3 回鳴り、設定が保存されたことを示します。
4. タッチパッドの設定調整が完了したら、A-dec のロゴが表示されるまで ◀ を押し続けます。



**注** ヘルプメッセージの一覧は、『規制情報、仕様および保証』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) に記載されています。この文書は、[www.a-dec.com](http://www.a-dec.com) のリソースセンターから入手できます。

## ハンドピース・ホルダーの設定

各ハンドピース・ホルダー用にハンドピースを設定できます。ハンドピースの種類には、ベーシックエアー、カメラ、電動、その他、超音波、バキューム、タービンなどがあります。

ハンドピース・ホルダーを設定するには、以下の手順を実行します。

1. [System Setup] 画面が表示されるまで **m** と **e** を同時に長押しし、続いて **▶** を押します。
2. [System Setup] 画面で **—** または **+** を押して [**Handpieces**] をハイライト表示し、続いて **▶** を押します。
3. [Handpiece Setup] 画面で **—** または **+** を押して [**Holder Setup**] をハイライト表示し、続いて **▶** を押します。
4. 設定するハンドピースをホルダーから取り上げます。
5. [Holder Setup] 画面で **—** または **+** を押してハンドピースの種類を選択し、その種類に応じて以下のいずれかを行います。
  - **Electric** : 設定手順については、コントロールモジュールに同梱されている説明書をご覧ください。
  - **All other Types** : **▶** を押します。ピープ音が3回鳴り、設定が保存されたことを示します。
6. ハンドピースをホルダーに戻します。
7. 起動している各ハンドピースで手順4～6を繰り返し、設定を行います。
8. ハンドピースの設定が完了したら、A-dec ロゴが表示されるまで **◀** を押します。

## 口腔内光源の設定



**注** クアッド電圧口腔内光源（QVIOLS）または IOLS コントロールが内蔵された電動モーターコントローラが取り付けられている場合、A-dec 300 Deluxe タッチパッドでは、さまざまな口腔内光源オプションを設定できます。

以下の設定が可能です。

- **On When Selected**：ホルダーからハンドピースを取り上げたときに口腔内光源を点灯するか消灯したままにするかを指定します。
- **Auto Off Delay**：フットコントロールを放してから口腔内光源を消灯するまでの時間を指定します。この時間は、空気送出を再度使用するとリセットされます。
- **On in Endo**：歯内治療モードのときに口腔内光源を点灯するか消灯するかを指定します。歯内治療用ハンドピースのほとんどが光ファイバーを装備していないことから、光源熱を軽減しバルブの寿命を延ばすために [Off] を選択することが推奨されます。

口腔内光源を設定するには、以下の手順を実行します。

1. Deluxe タッチパッドのメイン画面で、**m** と **e** を同時に 3 秒間長押ししてから、**▶** を押して開始します。
2. [System Setup] 画面で **—** または **+** を押して [Handpieces] をハイライト表示し、**▶** を押します。
3. [Handpiece Setup] 画面で **—** または **+** を押して [Intraoral Lt Source] をハイライト表示し、**▶** を押します。
4. 設定するハンドピースをホルダーから取り上げます。
5. [Light Source Setup] 画面で **—** または **+** を押して目的の設定を表示し、**▶** を押します。
6. **—** または **+** および **▶** を押して画面内を移動し、ハンドピースの設定を指定します。設定が完了すると、ビープ音が 3 回鳴ります。
7. 設定ごとに手順 5 と 6 を繰り返します。
8. ハンドピースをホルダーに戻します。
9. 各ハンドピースに対し手順 3～8 を繰り返して、設定を行います。
10. ハンドピースの設定が完了したら、A-dec ロゴが表示されるまで **◀** を押します。

## 標準タッチパッド

標準タッチパッドで設定またはカスタマイズを行うデリバリーシステム上の操作はありません。



## システムのテスト

---

設置が完了したら、以下のチェックリストを使用してデリバリーシステムをテストし、お客様と確認作業を行います。

### デリバリーシステム

- ハンドピースが正しく機能し、医師の意向に沿って設定されているか。
  - 水冷却および空気冷却
  - ハンドピース管のフラッシュ
  - ハンドピース・ホルダーのバルブとスイッチ
  - ハンドピースの空気送出圧
- コントロールヘッドがトレイに対して水平になっているか
- 接続型アームに意図しない滑りやずれがないか
- フットコントロールが正しく動作するか

### ユーティリティ

- 空気圧が 552 kPa (5.52 バール) に調整されているか
- フロアボックス (システムに含まれている場合) に空気や水の漏れがないか
- チューブや接続にねじれがないか、また空気や水の漏れがないか
- 余分なチューブやワイヤーがコイル状に巻かれて可動部品から離れた場所に収められているか





## 規制情報および保証

---

当局から指定された規制に関する情報と A-dec の保証については、『*規制情報、仕様および保証*』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) に記載されています。この文書は、[www.a-dec.com](http://www.a-dec.com) のリソースセンターから入手できます。



このドキュメントをオンラインでご覧になるには、左の QR コードをスキャンまたはタップ、クリックしてください。以下のリンクに移動します。  
[a-dec.com/regulatory-guide](http://a-dec.com/regulatory-guide)

本書に記載されている商標はすべて A-dec, Inc. の米国における登録商標または商標であり、その他の国においても商標または登録商標である可能性があります。



### A-dec 本社

2601 Crestview Drive  
Newberg, OR 97132 USA  
電話：1.800.547.1883 米国 / カナダ国内  
電話：+1.503.538.7478 米国 / カナダ国外  
[www.a-dec.com](http://www.a-dec.com)

A-dec, Inc. は本書の内容について、商品性および特定用途への適合性の黙示的保証を含む（ただしこれに限定されない）一切の保証を行いません。